

第1部 人口動態（令和元年中）

1 人口の概況

（1）人口の動き

・人口増加数は8,985人（社会増加数16,185人、自然増加数マイナス7,200人）

令和元年中の人口増加数は8,985人となっています。これを社会増加数と自然増加数とに分けてみると、社会増加数は16,185人（転入151,930人、転出135,653人、その他増減92人減）、自然増加数はマイナス7,200人（出生26,394人、死亡33,594人）となっています。平成30年中と比べ、社会増加数は2,729人増加し、自然増加数は1,604人の減少となっています。

平成以降の人口増加数の動きをみると、7年に7,049人まで減少した後は増加し、13年に36,405人に達しました。その後は年々減少し、23年に2,218人に減少した後、24年から増加し26年に8,192人に増加しました。27年に再び減少に転じ、29年に戦後最小の増加幅となる1,988人まで大きく減少しましたが、30年は7,860人、令和元年は8,985人と増加しています。

また、平成21年以降の人口動態を男女別にみると、女性の人口増加数が男性を上回っており、令和元年についても男性3,866人に対して女性5,119人と女性の人口増加数が1,253人上回りました。

[図1-1、図1-2、表1-1、統計表第3表～第5表]

図1-1 人口の増加の推移（昭和42年中～令和元年中）

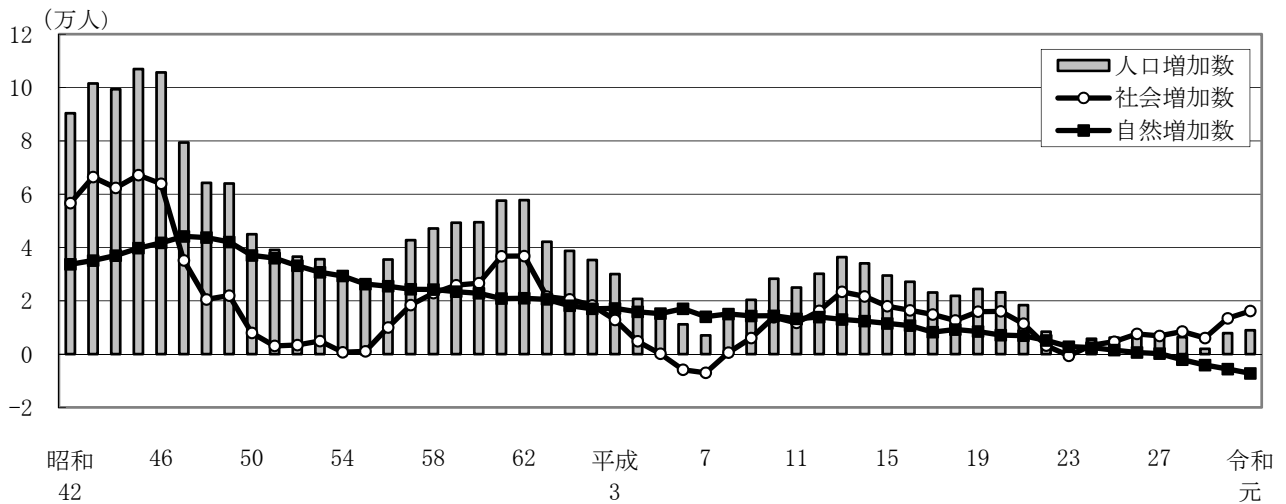


図1-2 男女別人口動態（平成21年中～令和元年中）

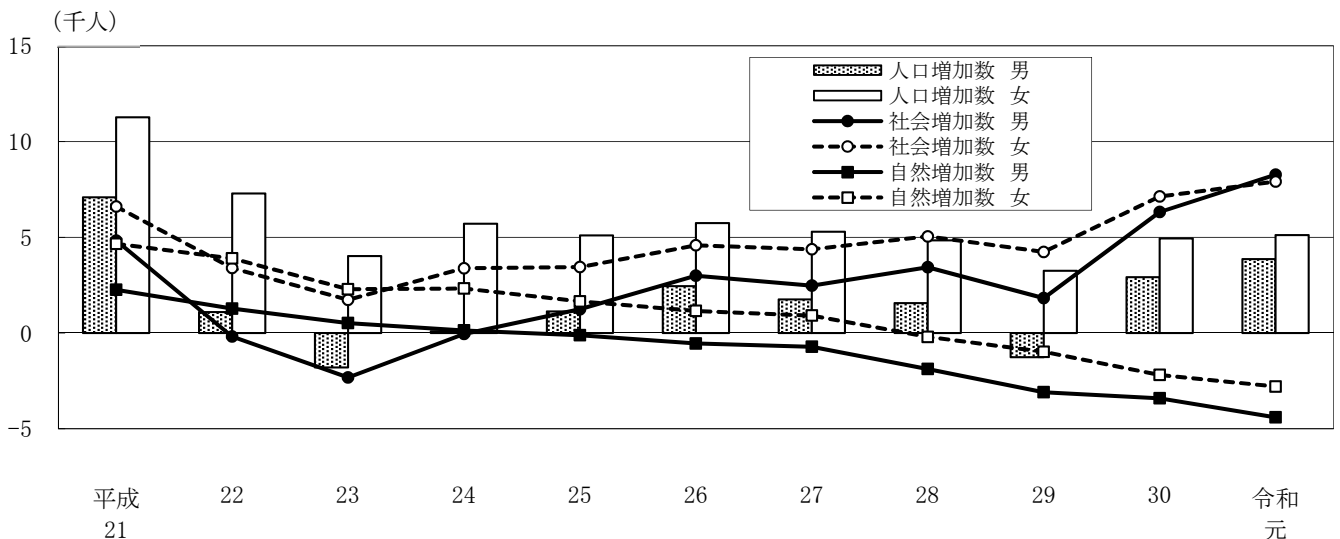


表 1-1 人口動態の推移 (昭和 22 年中～令和元年中)

年 中	人 口 増加数	人 口 増加率 (%)	社 会 動 態				自 然 動 態		
			社 会 増加数	転 入	転 出	その他 増 減	自 然 増加数	出 生	死 亡
昭和22	56,312	7.30	39,281	97,015	57,734	-	17,031	27,529	10,498
23	44,697	5.40	26,561	117,218	90,657	-	18,136	26,058	7,922
24	45,951	5.24	26,534	107,732	81,519	321	19,417	27,116	7,699
25	47,758	5.18	30,778	106,592	75,634	△ 180	16,980	24,063	7,083
26	47,938	4.97	32,685	110,147	78,469	1,007	15,253	22,008	6,755
27	36,057	3.56	21,643	94,168	72,688	163	14,414	20,400	5,986
28	40,559	3.87	27,180	93,917	66,429	△ 308	13,379	19,922	6,543
29	31,903	2.93	18,784	91,007	72,705	482	13,119	19,537	6,418
30	26,383	2.35	13,677	82,876	68,915	△ 284	12,706	19,118	6,412
31	30,783	2.67	18,142	80,937	61,617	△ 1,178	12,641	18,717	6,076
32	40,067	3.39	27,042	89,229	61,632	△ 555	13,025	19,736	6,711
33	43,218	3.54	28,282	92,278	63,712	△ 284	14,936	21,303	6,367
34	47,480	3.75	31,386	96,726	64,955	△ 385	16,094	22,220	6,126
35	55,882	4.26	38,610	104,337	64,993	△ 734	17,272	23,272	6,000
36	66,524	4.79	47,218	117,551	69,516	△ 817	19,306	24,710	5,404
37	77,675	5.34	56,702	137,482	80,222	△ 558	20,973	26,647	5,674
38	75,704	4.94	52,624	142,348	89,469	△ 255	23,080	28,617	5,537
39	87,243	5.43	60,386	163,566	102,111	△ 1,069	26,857	32,374	5,517
40	81,221	4.79	50,777	163,100	112,605	282	30,444	37,213	6,769
41	69,546	3.85	46,534	163,137	117,746	1,143	23,012	29,197	6,185
42	90,353	4.82	56,649	176,017	120,813	1,445	33,704	40,433	6,729
43	101,545	5.16	66,421	198,484	133,246	1,183	35,124	42,433	7,309
44	99,352	4.80	62,372	206,825	145,981	1,528	36,980	44,114	7,134
45	106,907	4.93	67,152	223,393	157,019	778	39,755	47,622	7,867
46	105,690	4.67	63,941	228,455	164,481	△ 33	41,749	50,490	8,741
47	79,354	3.35	35,178	206,752	172,834	1,260	44,176	53,562	9,386
48	64,276	2.63	20,531	202,635	183,235	1,131	43,745	53,504	9,759
49	64,035	2.55	21,963	194,347	173,581	1,197	42,072	52,394	10,322
50	44,988	1.75	7,943	174,150	168,068	1,861	37,045	47,353	10,308
51	39,094	1.49	3,091	163,519	162,907	2,479	36,003	46,322	10,319
52	36,569	1.37	3,418	164,186	162,386	1,618	33,151	43,758	10,607
53	35,625	1.32	4,930	162,893	159,161	1,198	30,695	41,625	10,930
54	30,035	1.10	712	164,686	162,397	△ 1,577	29,323	40,306	10,983
55	27,337	0.99	1,043	157,616	156,070	△ 503	26,294	37,977	11,683
56	35,502	1.28	10,032	158,942	149,921	1,011	25,470	37,493	12,023
57	42,756	1.52	18,417	162,855	145,411	973	24,339	36,381	12,042
58	47,155	1.65	22,891	162,049	139,659	501	24,264	37,179	12,915
59	49,315	1.70	25,882	163,354	138,057	585	23,433	36,466	13,033
60	49,471	1.67	26,633	165,318	138,923	238	22,838	36,063	13,225
61	57,605	1.92	36,740	175,943	139,712	509	20,865	34,461	13,596
62	57,776	1.89	36,805	181,661	145,034	178	20,971	34,773	13,802
63	42,157	1.35	21,590	174,968	153,560	182	20,567	35,321	14,754
平成元	38,737	1.23	20,559	177,756	157,841	644	18,178	32,774	14,596
2	35,294	1.10	18,276	181,160	162,949	65	17,018	32,746	15,728
3	30,013	0.93	12,852	175,427	165,019	2,444	17,161	33,651	16,490
4	20,703	0.64	4,820	174,042	169,942	720	15,883	32,896	17,013
5	15,365	0.47	138	170,920	171,532	750	15,227	32,692	17,465
6	11,208	0.34	△ 5,852	167,606	173,949	491	17,060	34,617	17,557
7	7,049	0.21	△ 6,987	161,795	169,462	680	14,036	32,899	18,863
8	15,650	0.47	570	161,504	161,622	688	15,080	33,567	18,487
9	20,373	0.61	6,023	163,280	157,828	571	14,350	33,273	18,923
10	28,262	0.84	13,870	165,655	152,481	696	14,392	34,547	20,155
11	24,979	0.74	11,747	164,918	153,616	445	13,232	33,676	20,444
12	30,161	0.89	16,229	166,939	150,866	156	13,932	34,295	20,363
13	36,405	1.06	23,376	171,197	148,076	255	13,029	33,722	20,693

表 1-1 人口動態の推移（昭和 22 年中～令和元年中）（続）

年 中	人 口 増加数	人 口 増加率 (%)	社 会 動 態				自 然 動 態		
			社 会 増加数	転 入	転 出	その他 増 減	自 然 増加数	出 生	死 亡
平成14	34,074	0.98	21,668	168,252	147,176	592	12,406	33,699	21,293
15	29,509	0.84	17,986	167,648	150,193	531	11,523	33,271	21,748
16	27,176	0.77	16,449	163,112	147,542	879	10,727	33,238	22,511
17	23,119	0.65	14,875	160,213	146,020	682	8,244	31,722	23,478
18	21,874	0.61	12,628	158,738	146,852	742	9,246	33,023	23,777
19	24,439	0.68	15,951	161,065	145,772	658	8,488	33,122	24,634
20	23,191	0.64	16,049	158,311	143,248	986	7,142	32,694	25,552
21	18,362	0.50	11,440	153,945	143,369	864	6,922	32,816	25,894
22	8,389	0.23	3,215	145,701	143,460	974	5,174	32,747	27,573
23	2,218	0.06	△ 590	139,112	139,905	203	2,808	31,296	28,488
24	5,795	0.16	3,335	141,289	137,784	△ 170	2,460	31,623	29,163
25	6,223	0.17	4,688	140,356	132,953	△ 2,715	1,535	30,753	29,218
26	8,192	0.22	7,579	138,809	129,947	△ 1,283	613	30,780	30,167
27	7,047	0.19	6,852	144,035	135,954	△ 1,229	195	30,928	30,733
28	6,401	0.17	8,485	140,829	132,234	△ 110	△ 2,084	29,749	31,833
29	1,988	0.05	6,061	140,759	134,518	△ 180	△ 4,073	28,611	32,684
30	7,860	0.21	13,456	147,977	134,397	△ 124	△ 5,596	27,891	33,487
令和元	8,985	0.24	16,185	151,930	135,653	△ 92	△ 7,200	26,394	33,594

注1) 人口増加数、社会動態、自然動態については各年1月1日～12月31日までの集計数値である。

注2) 人口増加率については、各年1月1日現在の人口に対する増加数の割合である。

注3) 平成24年中、25年中、26年中の社会動態の内訳について、国外から転入した外国人の人数を「その他増減」から「転入」に移行して修正している。

注4) 本表では、「市内移動の増減」を「その他増減」に含めている。

(2) 行政区別の状況

・人口増加数が多い港北区、増加率が高い西区

人口の動きを行政区別にみると、令和元年中は11区で増加、7区で減少しています。

増加数では、港北区が2,172人の増加と最も多く、次いで鶴見区(1,784人)、神奈川区(1,712人)、西区(1,585人)の順となっています。

また、増加率では、西区が1.55%と最も高く、次いで神奈川区(0.70%)、港北区(0.62%)、鶴見区(0.61%)の順となっています。

減少数では、金沢区が980人の減少と最も多く、次いで瀬谷区(643人)、旭区(600人)の順となっています。

また、減少率では、瀬谷区が0.52%と最も高く、次いで金沢区(0.49%)、栄区(0.36%)の順となっています。

【図1-3、図1-4、表1-2、統計表第5表】

図1-3 行政区別人口増加率

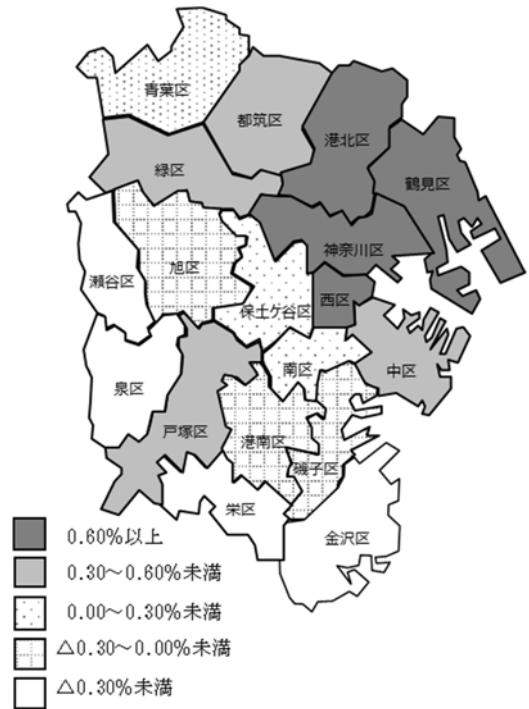


図1-4 行政区別人口動態 (令和元年中)

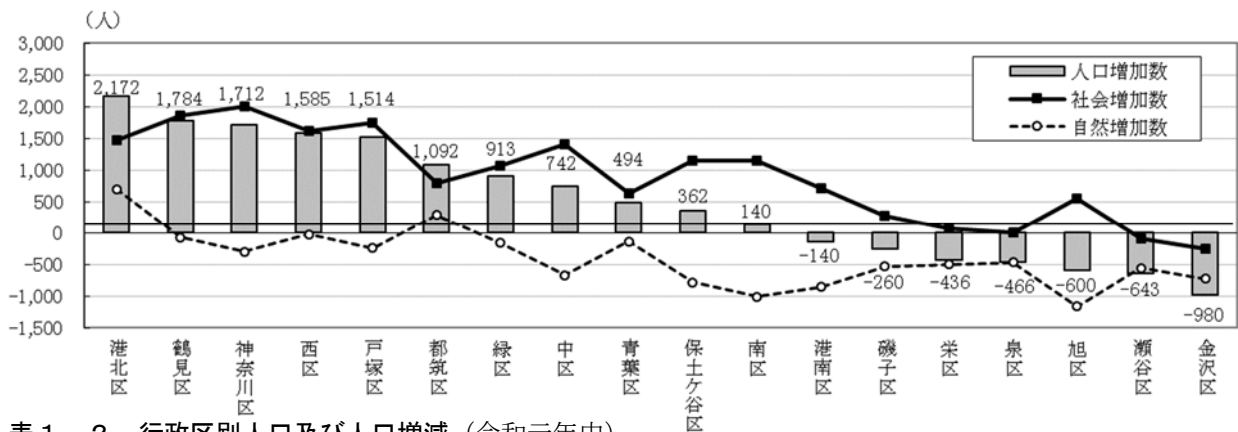


表1-2 行政区別人口及び人口増減 (令和元年中)

行政区	人口(1月1日現在)		人口増減				順位
	平成31年	令和2年	人口増加数	社会増加数	自然増加数	人口増加率(%)	
横浜市	3,740,944	3,749,929	8,985	16,185	△7,200	0.24	-
鶴見区	291,191	292,975	1,784	1,856	△72	0.61	4
神奈川区	243,324	245,036	1,712	2,011	△299	0.70	2
西区	102,400	103,985	1,585	1,610	△25	1.55	1
中区	149,168	149,910	742	1,408	△666	0.50	8
南区	195,342	195,482	140	1,152	△1,012	0.07	11
港南区	213,891	213,751	△140	712	△852	△0.07	12
保土ヶ谷区	205,577	205,939	362	1,147	△785	0.18	9
旭区	245,727	245,127	△600	559	△1,159	△0.24	14
磯子区	166,607	166,347	△260	274	△534	△0.16	13
金沢区	199,034	198,054	△980	△251	△729	△0.49	17
港北区	351,448	353,620	2,172	1,468	704	0.62	3
緑区	181,582	182,495	913	1,076	△163	0.50	7
青葉区	309,893	310,387	494	632	△138	0.16	10
都筑区	211,550	212,642	1,092	800	292	0.52	6
戸塚区	279,219	280,733	1,514	1,753	△239	0.54	5
栄区	120,048	119,612	△436	65	△501	△0.36	16
泉区	152,296	151,830	△466	1	△467	△0.31	15
瀬谷区	122,647	122,004	△643	△88	△555	△0.52	18

(3) 世帯の動き

・世帯規模は縮小し単身世帯化が進む

令和2年1月1日現在における世帯数は1,713,356世帯で、前年に比べ20,746世帯（1.23%）増加しています。令和元年中の世帯数の動きをみると、転入や世帯分離による増加が158,938世帯、転出や世帯合併による減少が138,192世帯となっています。

また、1世帯当たり人員は2.19人で、前年の2.21人より世帯の規模は縮小しています。

世帯人員別の世帯数の割合は10年前と比較して、1人世帯と2人世帯が増加し、3人以上の世帯が減少しており、単身世帯化や世帯規模の縮小化が進んでいます。

[図1-5、図1-6、表1-3、統計表第1表]

図1-5 世帯数及び1世帯当たり人員の推移（昭和42年～令和2年）

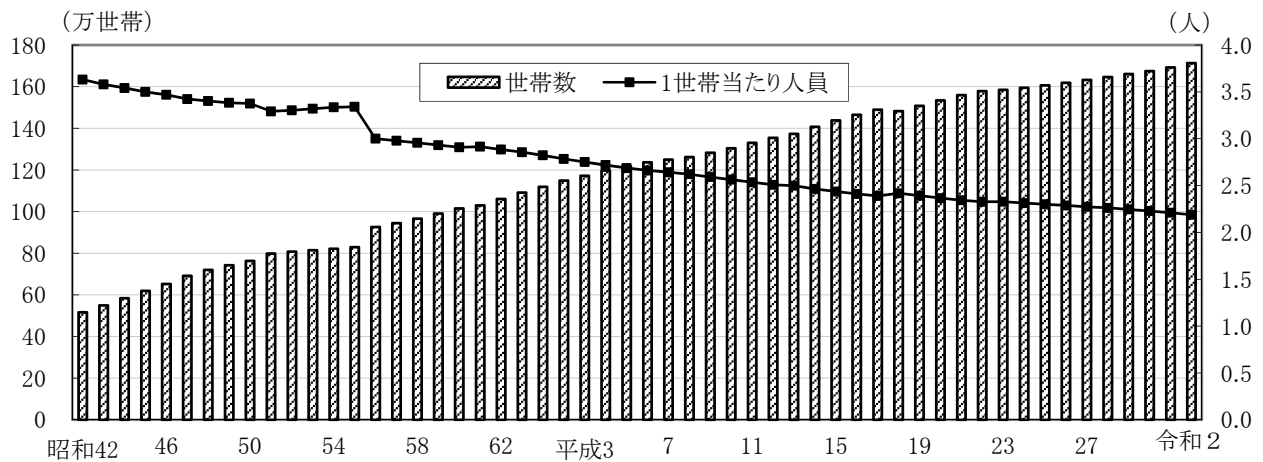
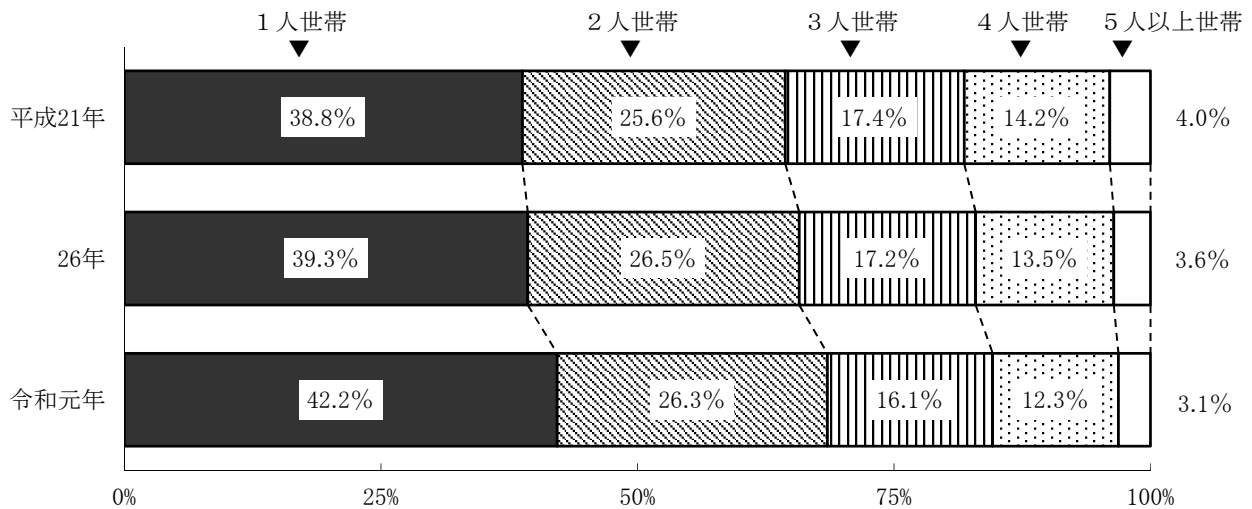


図1-6 世帯人員別世帯数の割合（平成21年、26年、令和元年）



注) 数値は各年9月30日現在の住民基本台帳人口を集計したものである。

・世帯数の増加数が多い港北区、増加率が高い西区

世帯数の動きを行政区別にみると、令和元年中は全ての区で増加しています。

増加数では港北区が2,317世帯と最も多く、次いで鶴見区(2,255世帯)、神奈川区(1,886世帯)、戸塚(1,706世帯)の順になっています。

また、増加率をみると、西区(2.15%)が最も高く、次いで都筑区(1.72%)、鶴見区(1.63%)、緑区(1.55%)、神奈川区(1.52%)の順になっています。

[図1-7、表1-3、統計表第19表]

図1-7 行政区別世帯数増加率

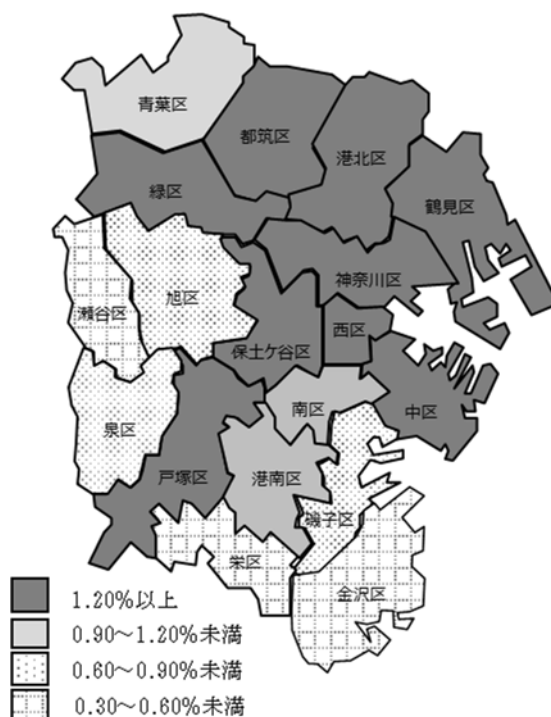


表1-3 行政区別世帯数及び世帯数の増減 (令和元年中)

行政区	世帯数(1月1日現在)		令和元年中				
	平成31年	令和2年	転入等による増加	転出等による減少	増加数	増加率(%)	増加率順位
横浜市	1,692,610	1,713,356	158,938	138,192	20,746	1.23	-
鶴見区	138,074	140,329	15,393	13,138	2,255	1.63	3
神奈川区	124,207	126,093	14,139	12,253	1,886	1.52	5
西区	54,636	55,811	7,801	6,626	1,175	2.15	1
中区	80,360	81,445	10,443	9,358	1,085	1.35	9
南区	98,812	99,863	10,849	9,798	1,051	1.06	10
港南区	93,071	94,026	6,829	5,874	955	1.03	11
保土ヶ谷区	95,306	96,671	9,235	7,870	1,365	1.43	7
旭区	105,324	106,227	7,253	6,350	903	0.86	13
磯子区	76,427	77,059	7,081	6,449	632	0.83	14
金沢区	87,999	88,473	6,068	5,594	474	0.54	18
港北区	168,508	170,825	18,231	15,914	2,317	1.38	8
緑区	76,945	78,135	6,769	5,579	1,190	1.55	4
青葉区	128,328	129,589	11,031	9,770	1,261	0.98	12
都筑区	82,504	83,925	7,287	5,866	1,421	1.72	2
戸塚区	117,957	119,663	9,060	7,354	1,706	1.45	6
栄区	51,160	51,457	3,755	3,458	297	0.58	16
泉区	61,844	62,339	4,181	3,686	495	0.80	15
瀬谷区	51,148	51,426	3,533	3,255	278	0.54	17

2 社会動態

(1) 社会移動の状況

・転入超過数は16,277人

令和元年中の社会移動数は356,825人で、平成30年中に比べ3,587人の増加となっています。

市外からの転入は151,930人（前年比3,953人増）、市外への転出は135,653人（同1,256人増）で、差引16,277人（同2,697人増）の転入超過となっています。

移動率（各年の1月1日現在人口に対する割合）をみると、転入率は4.06%、転出率は3.63%、市内移動率1.85%で、全体の移動率は9.54%になっています。

市外からの転入の推移をみると、昭和30年代後半から急激に増加し、44年に20万人を超え、45年に転入超過数が66,374人となり、46年に市外転入者数は最大の228,455人となりました。その後は小さく減少と増加を繰り返しながら、減少の方向で推移しており、平成26年には138,809人まで減少しましたが、令和元年は前年に引き続き増加し、151,930人となっています。

市外への転出は、昭和48年の183,235人をピークに減少傾向となりましたが、60年から再び増加に転じ、平成5年から8年にかけては転入を上回り、昭和22年以降初の転出超過となりました。その後は緩やかな減少傾向にあり、平成24年以降は13.5万人前後で推移しています。東日本大震災のあった平成23年は一時転出超過となりましたが、24年以降は転入超過が続き、令和元年の転入超過数は16,277人と前年に続き、1万人超となりました。

[図1-8、表1-4、統計表第3表]

図1-8 社会動態における転入・転出・市内移動の推移（昭和42年中～令和元年中）

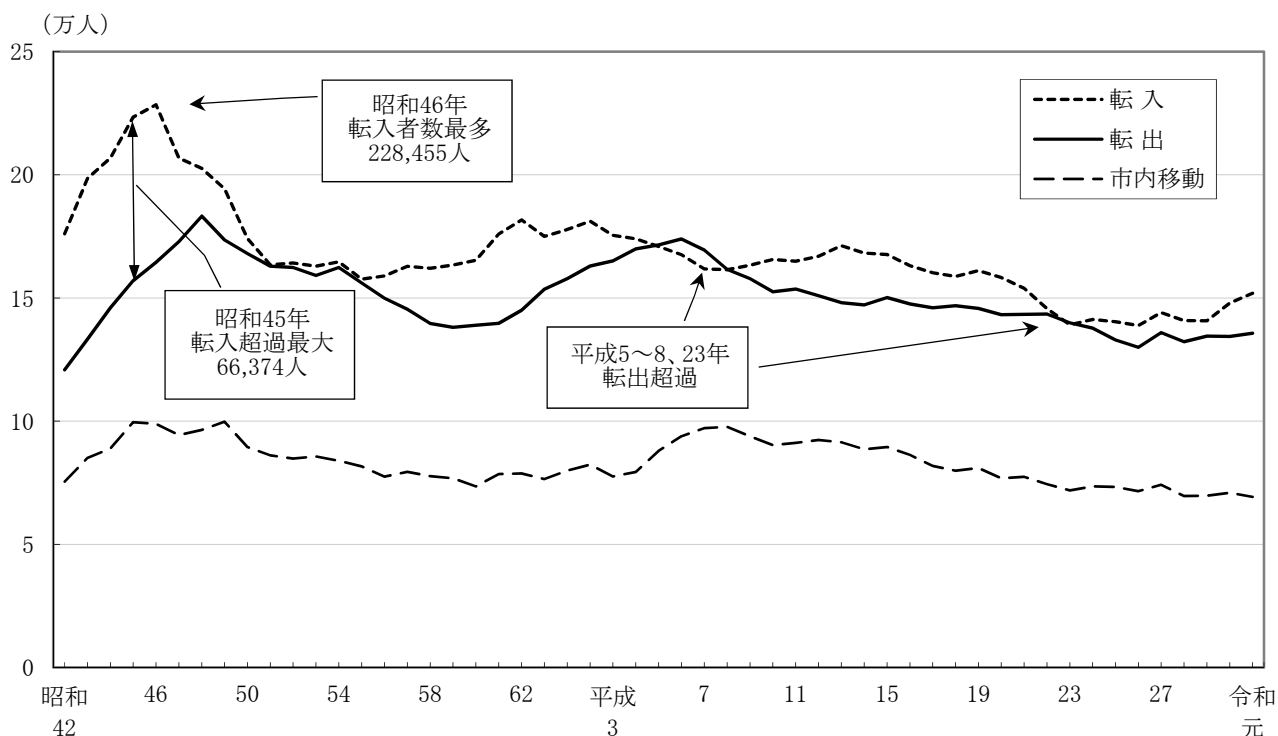


表 1-4 社会移動の推移 (昭和 22 年中～令和元年中)

年 中	社 会 移 動 数					移 動 率 (%)				
	移動総数	市 外 移 動			市内移動	移動率	市 外 移 動			市内移動率
		転入	転出	転入超過数			転入率	転出率	転入超過率	
昭和22	154,749	97,015	57,734	39,281	-	20.06	12.58	7.49	5.09	...
23	207,875	117,218	90,657	26,561	-	25.12	14.16	10.95	3.21	...
24	269,824	107,732	81,519	26,213	80,573	30.79	12.30	9.30	2.99	9.20
25	271,813	106,592	75,634	30,958	89,587	29.48	11.56	8.20	3.36	9.72
26	279,343	110,147	78,469	31,678	90,727	28.94	11.41	8.13	3.28	9.40
27	255,269	94,168	72,688	21,480	88,413	25.20	9.30	7.17	2.12	8.73
28	224,745	93,917	66,429	27,488	64,399	21.42	8.95	6.33	2.62	6.14
29	228,379	91,007	72,705	18,302	64,667	20.96	8.35	6.67	1.68	5.93
30	213,007	82,876	68,915	13,961	61,216	18.99	7.39	6.14	1.24	5.46
31	201,676	80,937	61,617	19,320	59,122	17.52	7.03	5.35	1.68	5.14
32	210,490	89,229	61,632	27,597	59,629	17.81	7.55	5.21	2.33	5.04
33	210,450	92,278	63,712	28,566	54,460	17.22	7.55	5.21	2.34	4.46
34	214,194	96,726	64,955	31,771	52,513	16.93	7.64	5.13	2.51	4.15
35	219,353	104,337	64,993	39,344	50,023	16.71	7.95	4.95	3.00	3.81
36	239,402	117,551	69,516	48,035	52,335	17.25	8.47	5.01	3.46	3.77
37	281,003	137,482	80,222	57,260	63,299	19.32	9.45	5.52	3.94	4.35
38	295,605	142,348	89,469	52,879	63,788	19.29	9.29	5.84	3.45	4.16
39	335,933	163,566	102,111	61,455	70,256	20.89	10.17	6.35	3.82	4.37
40	350,353	163,100	112,605	50,495	74,648	20.67	9.62	6.64	2.98	4.40
41	359,276	163,137	117,746	45,391	78,393	19.89	9.03	6.52	2.51	4.34
42	372,241	176,017	120,813	55,204	75,411	19.84	9.38	6.44	2.94	4.02
43	416,800	198,484	133,246	65,238	85,070	21.20	10.09	6.78	3.32	4.33
44	441,717	206,825	145,981	60,844	88,911	21.36	10.00	7.06	2.94	4.30
45	479,943	223,393	157,019	66,374	99,531	22.14	10.31	7.24	3.06	4.59
46	491,843	228,455	164,481	63,974	98,907	21.74	10.10	7.27	2.83	4.37
47	473,968	206,752	172,834	33,918	94,382	20.01	8.73	7.30	1.43	3.99
48	482,268	202,635	183,235	19,400	96,398	19.70	8.28	7.48	0.79	3.94
49	467,680	194,347	173,581	20,766	99,752	18.61	7.73	6.91	0.83	3.97
50	431,695	174,150	168,068	6,082	89,477	16.75	6.76	6.52	0.24	3.47
51	412,543	163,519	162,907	612	86,117	15.69	6.22	6.20	0.02	3.27
52	411,369	164,186	162,386	1,800	84,797	15.41	6.15	6.08	0.07	3.18
53	407,700	162,893	159,161	3,732	85,646	15.07	6.02	5.88	0.14	3.17
54	410,976	164,686	162,397	2,289	83,893	14.99	6.01	5.92	0.08	3.06
55	395,284	157,616	156,070	1,546	81,598	14.27	5.69	5.63	0.06	2.94
56	386,286	158,942	149,921	9,021	77,423	13.90	5.72	5.39	0.32	2.79
57	387,663	162,855	145,411	17,444	79,397	13.77	5.79	5.17	0.62	2.82
58	379,342	162,049	139,659	22,390	77,634	13.28	5.67	4.89	0.78	2.72
59	378,216	163,354	138,057	25,297	76,805	13.02	5.62	4.75	0.87	2.64
60	377,760	165,318	138,923	26,395	73,519	12.79	5.60	4.70	0.89	2.49
61	394,164	175,943	139,712	36,231	78,509	13.13	5.86	4.65	1.21	2.61
62	405,426	181,661	145,034	36,627	78,731	13.25	5.94	4.74	1.20	2.57
63	405,032	174,968	153,560	21,408	76,504	12.99	5.61	4.92	0.69	2.45
平成元	415,537	177,756	157,841	19,915	79,940	13.15	5.62	4.99	0.63	2.53
2	426,470	181,160	162,949	18,211	82,361	13.33	5.66	5.09	0.57	2.57
3	417,946	175,427	165,019	10,408	77,500	12.96	5.44	5.12	0.32	2.40
4	423,305	174,042	169,942	4,100	79,321	13.00	5.35	5.22	0.13	2.44
5	430,353	170,920	171,532	△ 612	87,901	13.13	5.22	5.24	△ 0.02	2.68
6	435,396	167,606	173,949	△ 6,343	93,841	13.23	5.09	5.28	△ 0.19	2.85
7	428,411	161,795	169,462	△ 7,667	97,154	12.97	4.90	5.13	△ 0.23	2.94
8	420,775	161,504	161,622	△ 118	97,649	12.72	4.88	4.88	△ 0.00	2.95

表 1-4 社会移動の推移（昭和 22 年中～令和元年中）（続）

年 中	社 会 移 動 数					移 動 率 (%)				
	移動総数	市 外 移 動			市内移動	移動率	市 外 移 動			市内移動率
		転入	転出	転入超過数			転入率	転出率	転入超過率	
平成 9	414,952	163,280	157,828	5,452	93,844	12.48	4.91	4.75	0.16	2.82
10	408,378	165,655	152,481	13,174	90,242	12.21	4.95	4.56	0.39	2.70
11	409,710	164,918	153,616	11,302	91,176	12.15	4.89	4.55	0.34	2.70
12	410,125	166,939	150,866	16,073	92,320	12.07	4.91	4.44	0.47	2.72
13	410,694	171,197	148,076	23,121	91,421	11.96	4.99	4.31	0.67	2.66
14	403,992	168,252	147,176	21,076	88,564	11.65	4.85	4.24	0.61	2.55
15	407,330	167,648	150,193	17,455	89,489	11.63	4.79	4.29	0.50	2.55
16	396,962	163,112	147,542	15,570	86,308	11.24	4.62	4.18	0.44	2.44
17	388,030	160,213	146,020	14,193	81,797	10.90	4.50	4.10	0.40	2.30
18	385,426	158,738	146,852	11,886	79,836	10.75	4.43	4.10	0.33	2.23
19	387,783	161,065	145,772	15,293	80,946	10.75	4.47	4.04	0.42	2.24
20	378,353	158,311	143,248	15,063	76,794	10.42	4.36	3.94	0.41	2.11
21	374,733	153,945	143,369	10,576	77,419	10.25	4.21	3.92	0.29	2.12
22	363,577	145,701	143,460	2,241	74,416	9.90	3.97	3.91	0.06	2.03
23	350,867	139,112	139,905	△ 793	71,850	9.51	3.77	3.79	△ 0.02	1.95
24	352,552	141,289	137,784	3,505	73,479	9.55	3.83	3.73	0.09	1.99
25	346,578	140,356	132,953	7,403	73,269	9.37	3.80	3.60	0.20	1.98
26	340,292	138,809	129,947	8,862	71,536	9.19	3.75	3.51	0.24	1.93
27	354,131	144,035	135,954	8,081	74,142	9.54	3.88	3.66	0.22	2.00
28	342,680	140,829	132,234	8,595	69,617	9.20	3.78	3.55	0.23	1.87
29	344,970	140,759	134,518	6,241	69,693	9.25	3.77	3.61	0.17	1.87
30	353,238	147,977	134,397	13,580	70,864	9.46	3.96	3.60	0.36	1.90
令和元	356,825	151,930	135,653	16,277	69,242	9.54	4.06	3.63	0.44	1.85

注 1) 市内移動は転入の人数である。また、移動率の算出に用いた人口は各年 1 月 1 日現在人口である。

注 2) 平成 24 年中、25 年中、26 年中の社会移動数の内訳について、国外から転入した外国人の人数を「市外移動の転入」に移行して修正している。

(2) 市外移動

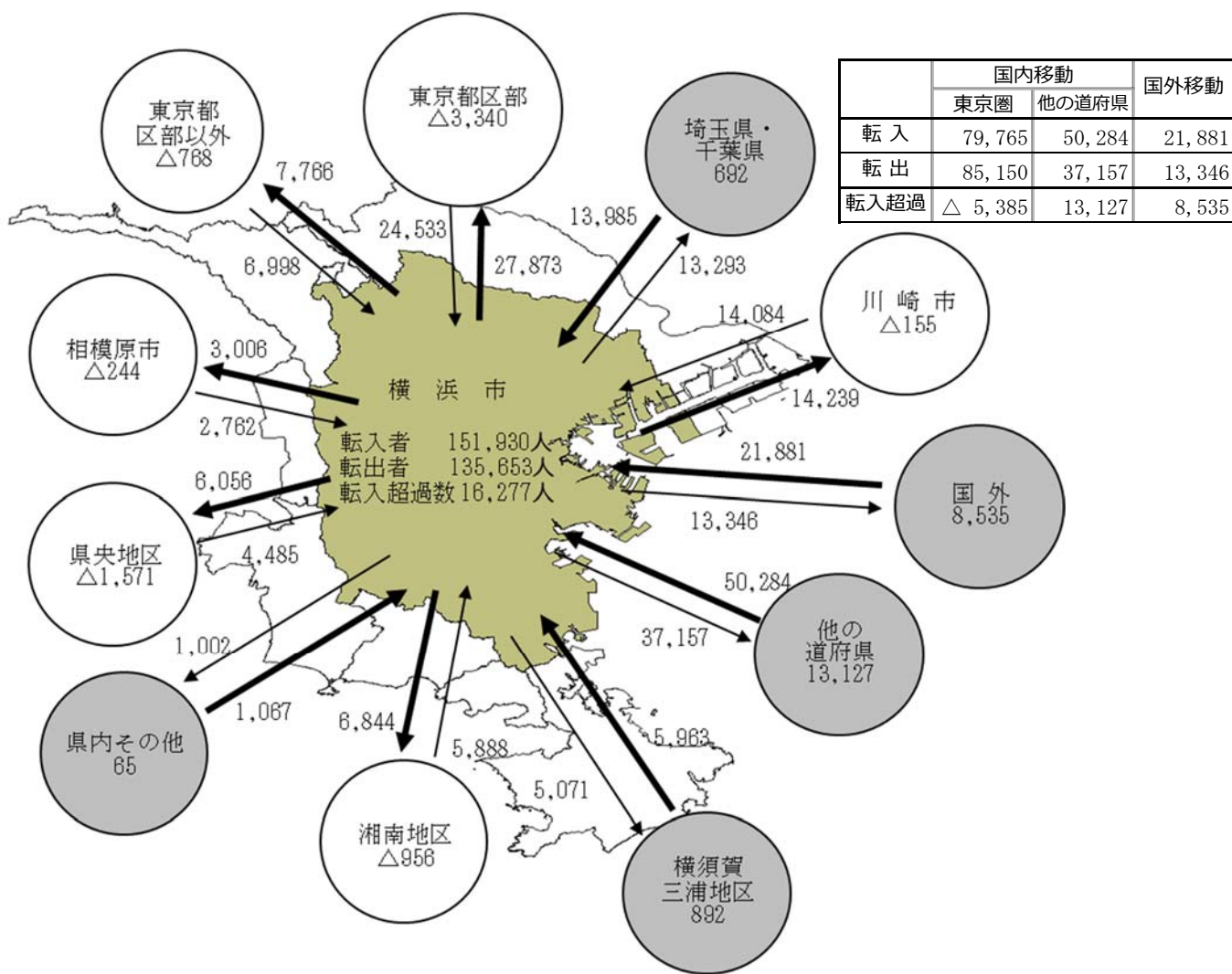
・東京都区部への転出超過が目立つ

市外移動を移動前・移動後の住所地別にみると、都道府県別では転入・転出ともに、神奈川県が最も多く、次いで、東京都、千葉県、埼玉県の順になっています。これら東京圏内だけで転入者の52.5% (79,765人)、転出者の62.8% (85,150人) を占めています。

横浜市の転入超過数 (16,277人) を地域別にみると、東京圏内では、横須賀三浦地区 (892人)、埼玉・千葉県 (692人) が前年に引き続き転入超過となった一方、川崎市 (マイナス155人) は転出超過に転じています。その他の地域では、東京都区部 (マイナス3,340人)、東京都区部以外 (マイナス768人)、湘南地区 (マイナス956人)、県央地区 (マイナス1,571人) などが、前年に引き続き転出超過となっています。この結果、東京圏内全体での転出超過は前年より増加し、5,385人となっています。一方、東京圏以外の道府県は13,127人の転入超過、国外は8,535人の転入超過となっています。

[図1-9、図1-10、表1-5、統計表第14表、第15表]

図1-9 地域別にみた転入・転出者数 (令和元年中)



東京都と神奈川県の細区分

- 東京都区部 : 23 特別区
- 東京都区部以外 : 23 特別区を除く都内の市町村
- 川崎市 : 川崎市 (川崎区、幸区、中原区、高津区、宮前区、多摩区、麻生区)
- 相模原市 : 相模原市 (緑区、中央区、南区)
- 横須賀三浦地区 : 横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、三浦郡 (葉山町)
- 県央地区 : 厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛甲郡 (愛川町、清川村)
- 湘南地区 : 平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、高座郡 (寒川町) 中郡 (大磯町、二宮町)
- 県内その他 : 小田原市、南足柄市、足柄上郡 (中井町、大井町、松田町、山北町、開成町)、足柄下郡 (箱根町、真鶴町、湯河原町)

図1-10 東京圏内各地域の転入・転出超過数の推移（平成27年中～令和元年中）

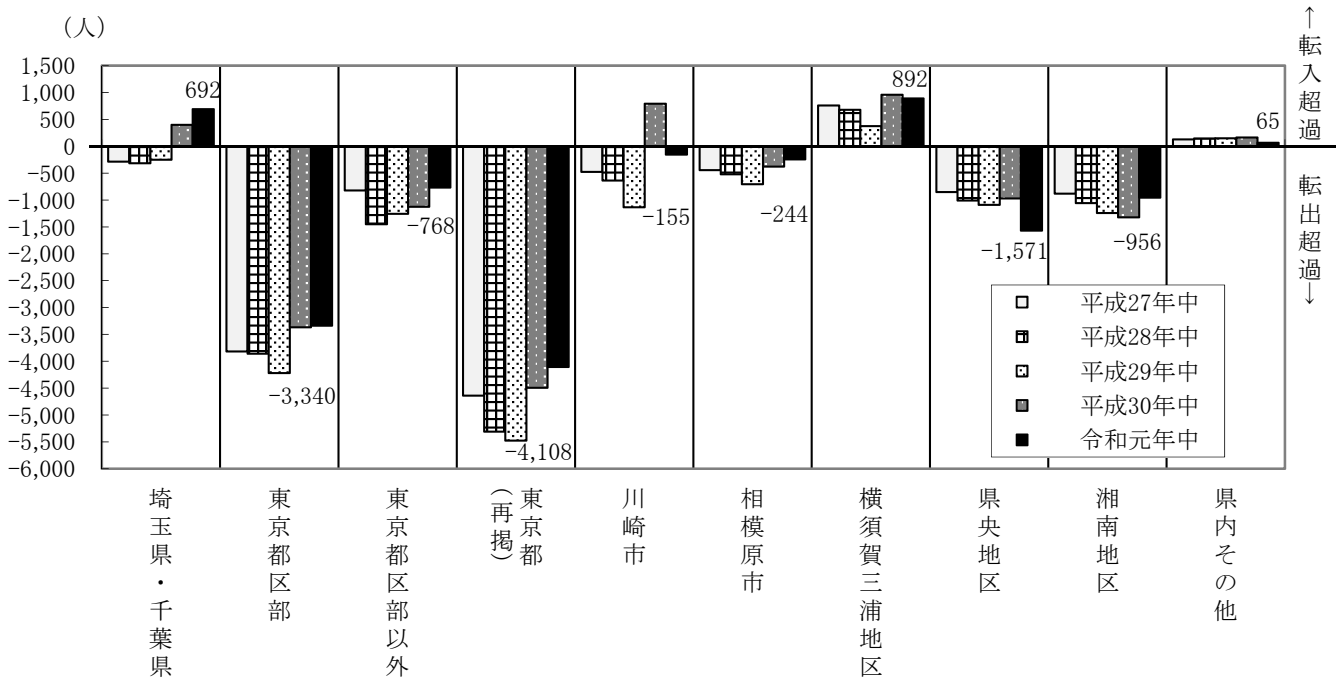


表1-5 移動前・移動後の住所地別転入・転出者数の順位（令和元年中）

都道府県		近隣市区	
【転入】	【転入超過】	【転入】	【転入超過】
1 神奈川県 34,249	1 静岡県 1,062	1 川崎市 14,084	1 横須賀市 1,209
2 東京都 31,531	2 愛知県 1,013	2 大田区 4,508	2 大田区 554
3 千葉県 7,350	3 大阪府 859	3 横須賀市 3,633	3 厚木市 193
4 埼玉県 6,635	4 北海道 710	4 世田谷区 2,866	4 秦野市 94
5 大阪府 4,536	5 宮城県 621	5 相模原市 2,762	5 小田原市 80
6 愛知県 4,468	6 新潟県 611	6 藤沢市 2,669	6 伊勢原市 79
7 静岡県 3,931	7 兵庫県 592	7 品川区 1,871	7 三浦市 58
8 北海道 2,977	8 千葉県 582	8 大和市 1,837	8 江戸川区 42
9 福岡県 2,759	9 茨城県 560	9 町田市 1,556	9 南足柄市 38
10 兵庫県 2,657	10 福岡県 508	10 鎌倉市 1,399	10 板橋区 35
(再掲) 東京圏 79,765			

都道府県		近隣市区	
【転出】	【転出超過】	【転出】	【転出超過】
1 神奈川県 36,218	1 東京都 4,108	1 川崎市 14,239	1 大和市 1,114
2 東京都 35,639	2 神奈川県 1,969	2 大田区 3,954	2 藤沢市 871
3 千葉県 6,768		3 藤沢市 3,540	3 町田市 857
4 埼玉県 6,525		4 世田谷区 3,254	4 品川区 541
5 大阪府 3,677		5 相模原市 3,006	5 世田谷区 388
6 愛知県 3,455		6 大和市 2,951	6 文京区 319
7 静岡県 2,869		7 横須賀市 2,424	7 中央区 318
8 北海道 2,267		8 町田市 2,413	8 鎌倉市 309
9 福岡県 2,251		9 品川区 2,412	9 港区 292
10 兵庫県 2,065		10 鎌倉市 1,708	10 墨田区 265
(再掲) 東京圏 85,150			

注) 神奈川県には、横浜市内の移動は含まない。

(3) 市内移動

・隣接区への移動が 55.6%

市内移動（区間移動）の69,242人を移動前・移動後の住所地別にみると、隣接区への移動が38,527人と全体の半数以上を占めています。行政区別に移動数をみると、図1-11の区間において移動数が多くなっています。

また、市内移動（区間移動）による転入超過数をみると、戸塚区（901人）、緑区（727人）及び旭区（610人）で多くっており、特に、図1-12の区間において差が大きくなっています。

[図1-11、図1-12、
表1-6、統計表第15表]

図1-11 区間移動数(令和元年中)

転入者数(上位10区)		
【転出側】	【転入側】	
中区	⇒ 南区	1,215
神奈川区	⇒ 港北区	1,192
港北区	⇒ 都筑区	1,191
港北区	⇒ 神奈川区	1,147
南区	⇒ 中区	1,063
保土ヶ谷区	⇒ 旭区	925
都筑区	⇒ 青葉区	889
戸塚区	⇒ 泉区	786
泉区	⇒ 戸塚区	785
南区	⇒ 港南区	783

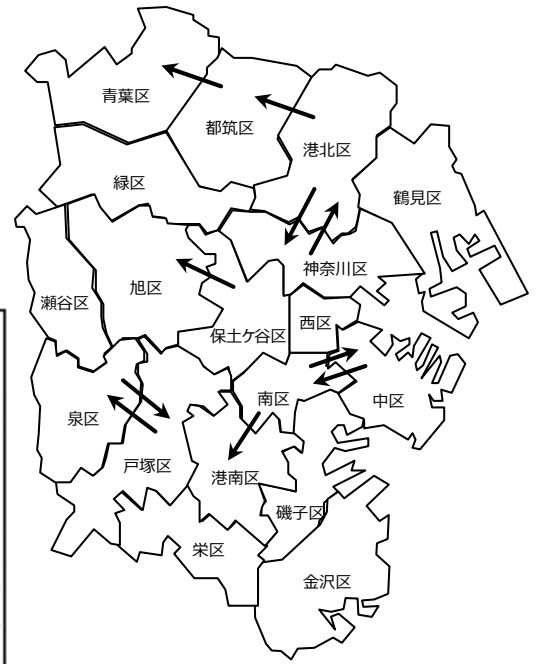


表1-6 移動前・移動後の住所地別市内（区間）移動者数・転入超過数（令和元年中）

移動前の住所地	総数	移動後の住所地									
		鶴見区	神奈川区	西区	中区	南区	港南区	保土ヶ谷区	旭区		
総数	69,242	3,448	5,675	3,562	4,364	5,289	4,356	4,686	4,491		
鶴見区	3,878	-	752	177	235	240	166	231	216		
神奈川区	6,105	643	-	500	402	376	247	689	295		
西区	3,322	162	454	-	524	371	127	507	215		
中区	4,759	219	415	600	-	1,215	258	253	153		
南区	5,714	246	360	412	1,063	-	783	428	202		
港南区	3,968	153	221	137	190	623	-	178	126		
保土ヶ谷区	4,789	192	497	579	227	423	171	-	925		
旭区	3,881	140	232	193	133	178	99	689	-		
磯子区	3,903	188	196	129	436	490	727	138	134		
金沢区	2,660	127	184	91	196	282	352	108	84		
港北区	6,451	709	1,147	221	293	259	193	325	321		
緑区	3,056	93	288	76	83	88	76	144	343		
青葉区	2,874	96	173	52	89	72	75	107	155		
都筑区	3,627	128	230	64	94	79	94	135	161		
戸塚区	4,038	164	236	147	154	285	466	356	210		
栄区	1,948	53	70	54	98	143	317	80	76		
泉区	2,411	66	110	69	74	99	132	146	299		
瀬谷区	1,858	69	110	61	73	66	73	172	576		

移動後の住所地	総数	移動前の住所地									
		鶴見区	神奈川区	西区	中区	南区	港南区	保土ヶ谷区	旭区		
鶴見区	430	-	109	15	16	△ 6	13	39	76		
神奈川区	430	△ 109	-	46	△ 13	16	26	192	63		
西区	△ 240	△ 15	△ 46	-	△ 76	△ 41	△ 10	△ 72	22		
中区	395	△ 16	13	76	-	152	68	26	20		
南区	425	6	△ 16	41	△ 152	-	160	5	24		
港南区	△ 388	△ 13	△ 26	10	△ 68	△ 160	-	7	27		
保土ヶ谷区	103	△ 39	△ 192	72	△ 26	△ 5	△ 7	-	236		
旭区	△ 610	△ 76	△ 63	△ 22	△ 20	△ 24	△ 27	△ 236	-		
磯子区	285	49	△ 34	△ 1	△ 129	△ 135	172	7	54		
金沢区	493	31	63	21	69	37	74	21	△ 15		
港北区	926	35	△ 45	△ 9	37	2	8	54	76		
緑区	△ 727	△ 54	△ 105	17	△ 10	-	14	19	30		
青葉区	△ 132	△ 47	41	△ 17	15	△ 13	△ 5	14	19		
都筑区	△ 11	△ 31	△ 71	△ 14	△ 23	△ 72	28	55	56		
戸塚区	△ 901	△ 101	△ 48	△ 13	△ 48	△ 144	△ 82	△ 172	△ 9		
栄区	92	△ 32	△ 18	12	19	54	△ 21	18	22		
泉区	△ 317	△ 10	6	10	3	△ 67	△ 24	△ 49	△ 43		
瀬谷区	△ 253	△ 8	2	△ 4	11	△ 19	1	△ 31	△ 48		

注) 各区間の移動者数は、移動後の住所地からみた転入者数である。

図1-12 区間移動の転入超過数（令和元年中）

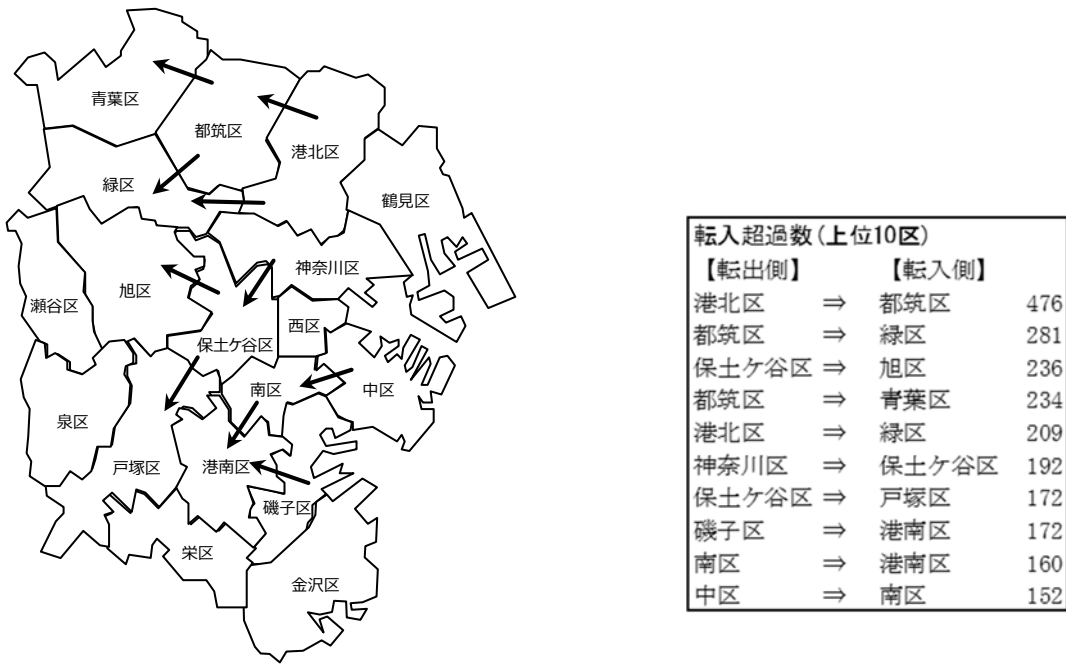


表1-6 移動前・移動後の住所地別市内(区間)・移動者数・転入超過数(令和元年中)

移動後の住所地											移動前の住所地
磯子区	金沢区	港北区	緑区	青葉区	都筑区	戸塚区	栄区	泉区	瀬谷区	総数	
3,618	2,167	5,525	3,783	3,006	3,638	4,939	1,856	2,728	2,111	鶴見区	
139	96	674	147	143	159	265	85	76	77	神奈川区	
230	121	1,192	393	132	301	284	88	104	108	西区	
130	70	230	59	69	78	160	42	59	65	中区	
565	127	256	93	74	117	202	79	71	62	南区	
625	245	257	88	85	151	429	89	166	85	港南区	
555	278	185	62	80	66	548	338	156	72	保土ヶ谷区	
131	87	271	125	93	80	528	62	195	203	旭区	
80	99	245	313	136	105	219	54	342	624	磯子区	
-	450	151	103	52	62	266	222	110	49	磯子区	
507	-	156	57	59	75	137	137	77	31	金沢区	
124	102	-	603	353	1,191	313	70	115	112	港北区	
42	60	394	-	677	412	83	42	53	102	緑区	
32	41	303	768	-	655	86	57	35	78	青葉区	
54	31	715	693	889	-	110	29	64	57	都筑区	
161	121	252	102	56	59	-	350	786	133	戸塚区	
154	150	70	45	26	37	426	-	104	45	栄区	
51	60	105	34	43	52	785	78	-	208	泉区	
38	29	69	98	39	38	98	34	215	-	瀬谷区	
移動前の住所地											移動後の住所地
磯子区	金沢区	港北区	緑区	青葉区	都筑区	戸塚区	栄区	泉区	瀬谷区	総数	
△ 49	△ 31	△ 35	54	47	31	101	32	10	8	鶴見区	
34	△ 63	45	105	△ 41	71	48	18	△ 6	△ 2	神奈川区	
1	△ 21	9	△ 17	17	14	13	△ 12	△ 10	4	西区	
129	△ 69	△ 37	10	△ 15	23	48	△ 19	△ 3	△ 11	中区	
135	△ 37	△ 2	-	13	72	144	△ 54	67	19	南区	
△ 172	△ 74	△ 8	△ 14	5	△ 28	82	21	24	△ 1	港南区	
△ 7	△ 21	△ 54	△ 19	△ 14	△ 55	172	△ 18	49	31	保土ヶ谷区	
△ 54	△ 15	△ 76	△ 30	△ 19	△ 56	9	△ 22	43	48	旭区	
-	△ 57	27	61	20	8	105	68	59	11	磯子区	
57	-	54	△ 3	18	44	16	△ 13	17	2	金沢区	
△ 27	△ 54	-	209	50	476	61	-	10	43	港北区	
△ 61	3	△ 209	-	△ 91	△ 281	△ 19	△ 3	19	4	緑区	
△ 20	△ 18	△ 50	91	-	△ 234	30	31	△ 8	39	青葉区	
△ 8	△ 44	△ 476	281	234	-	51	△ 8	12	19	都筑区	
△ 105	△ 16	△ 61	19	△ 30	△ 51	-	△ 76	1	35	戸塚区	
△ 68	13	-	3	△ 31	8	76	-	26	11	栄区	
△ 59	△ 17	△ 10	△ 19	8	△ 12	△ 1	△ 26	-	△ 7	泉区	
△ 11	△ 2	△ 43	△ 4	△ 39	△ 19	△ 35	△ 11	7	-	瀬谷区	

(4) 年齢別、男女別社会移動

・移動が多い20～30歳代

社会移動数を年齢別にみると、市外からの転入では25～29歳が32,921人（転入者の21.7%）と最も多く、次いで20～24歳が29,112人（同19.2%）、30～34歳が21,599人（同14.2%）、35～39歳が13,793人（同9.1%）となっており、20～30歳代で全体の64.1%を占めています。

また、市外への転出及び市内移動についてもほぼ同じ傾向で、20～30歳代の社会移動が多くなっています。

平成21年中、26年中及び令和元年中の年齢別転入超過数をみると、各年ともに20～24歳が最も高く、以降60～64歳まで減少傾向となっています。令和元年中では、55～59歳、60～64歳を除く他のすべての年齢区分で転入超過となっています。

男女別では、市外移動、市内移動ともに男性の移動割合が高くなっています。

[表1-7、図1-13、図1-14、図1-15]

表1-7 年齢、男女別社会移動数（令和元年中）

男女、年齢	社会移動数						割合(%)			
	総移動数	市外移動			市内移動	総移動数	市外移動		市内移動	
		転入	転出	転入超過数			転入	転出		
総数	356,825	151,930	135,653	16,277	69,242	100.0	100.0	100.0	100.0	
0～14歳	34,376	13,656	13,414	242	7,306	9.6	9.0	9.9	10.6	
15～19歳	11,071	5,887	3,116	2,771	2,068	3.1	3.9	2.3	3.0	
20～24歳	57,095	29,112	20,503	8,609	7,480	16.0	19.2	15.1	10.8	
25～29歳	75,044	32,921	29,541	3,380	12,582	21.0	21.7	21.8	18.2	
30～34歳	52,666	21,599	20,726	873	10,341	14.8	14.2	15.3	14.9	
35～39歳	34,150	13,793	13,328	465	7,029	9.6	9.1	9.8	10.2	
40～44歳	22,791	9,181	8,891	290	4,719	6.4	6.0	6.6	6.8	
45～49歳	18,393	7,327	7,119	208	3,947	5.2	4.8	5.2	5.7	
50～54歳	13,764	5,363	5,321	42	3,080	3.9	3.5	3.9	4.4	
55～59歳	9,924	3,644	3,989	△ 345	2,291	2.8	2.4	2.9	3.3	
60～64歳	6,897	2,378	2,841	△ 463	1,678	1.9	1.6	2.1	2.4	
65歳以上	20,654	7,069	6,864	205	6,721	5.8	4.7	5.1	9.7	
総数	190,835	82,125	73,418	8,707	35,292	53.5	54.1	54.1	51.0	
0～14歳	17,653	6,969	6,930	39	3,754	4.9	4.6	5.1	5.4	
15～19歳	5,718	3,131	1,623	1,508	964	1.6	2.1	1.2	1.4	
20～24歳	30,067	15,511	10,989	4,522	3,567	8.4	10.2	8.1	5.2	
25～29歳	39,787	17,904	15,591	2,313	6,292	11.2	11.8	11.5	9.1	
30～34歳	28,055	11,551	11,040	511	5,464	7.9	7.6	8.1	7.9	
35～39歳	18,928	7,676	7,416	260	3,836	5.3	5.1	5.5	5.5	
40～44歳	13,087	5,315	5,131	184	2,641	3.7	3.5	3.8	3.8	
45～49歳	10,638	4,253	4,248	5	2,137	3.0	2.8	3.1	3.1	
50～54歳	8,052	3,204	3,201	3	1,647	2.3	2.1	2.4	2.4	
55～59歳	5,794	2,229	2,358	△ 129	1,207	1.6	1.5	1.7	1.7	
60～64歳	4,127	1,475	1,727	△ 252	925	1.2	1.0	1.3	1.3	
65歳以上	8,929	2,907	3,164	△ 257	2,858	2.5	1.9	2.3	4.1	
総数	165,990	69,805	62,235	7,570	33,950	46.5	45.9	45.9	49.0	
0～14歳	16,723	6,687	6,484	203	3,552	4.7	4.4	4.8	5.1	
15～19歳	5,353	2,756	1,493	1,263	1,104	1.5	1.8	1.1	1.6	
20～24歳	27,028	13,601	9,514	4,087	3,913	7.6	9.0	7.0	5.7	
25～29歳	35,257	15,017	13,950	1,067	6,290	9.9	9.9	10.3	9.1	
30～34歳	24,611	10,048	9,686	362	4,877	6.9	6.6	7.1	7.0	
35～39歳	15,222	6,117	5,912	205	3,193	4.3	4.0	4.4	4.6	
40～44歳	9,704	3,866	3,760	106	2,078	2.7	2.5	2.8	3.0	
45～49歳	7,755	3,074	2,871	203	1,810	2.2	2.0	2.1	2.6	
50～54歳	5,712	2,159	2,120	39	1,433	1.6	1.4	1.6	2.1	
55～59歳	4,130	1,415	1,631	△ 216	1,084	1.2	0.9	1.2	1.6	
60～64歳	2,770	903	1,114	△ 211	753	0.8	0.6	0.8	1.1	
65歳以上	11,725	4,162	3,700	462	3,863	3.3	2.7	2.7	5.6	

図1-13 年齢別社会移動数（令和元年中）

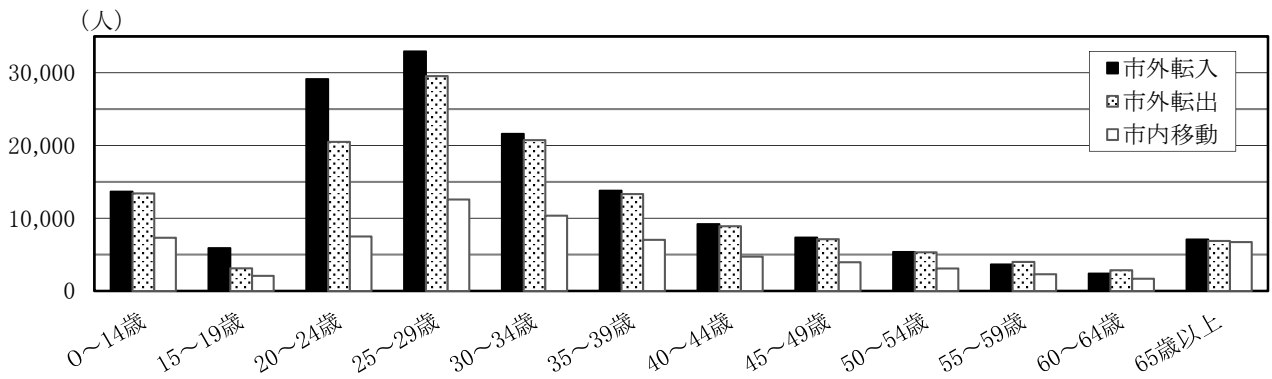


図1-14 年齢別転入超過数（平成21年中、26年中、令和元年中）

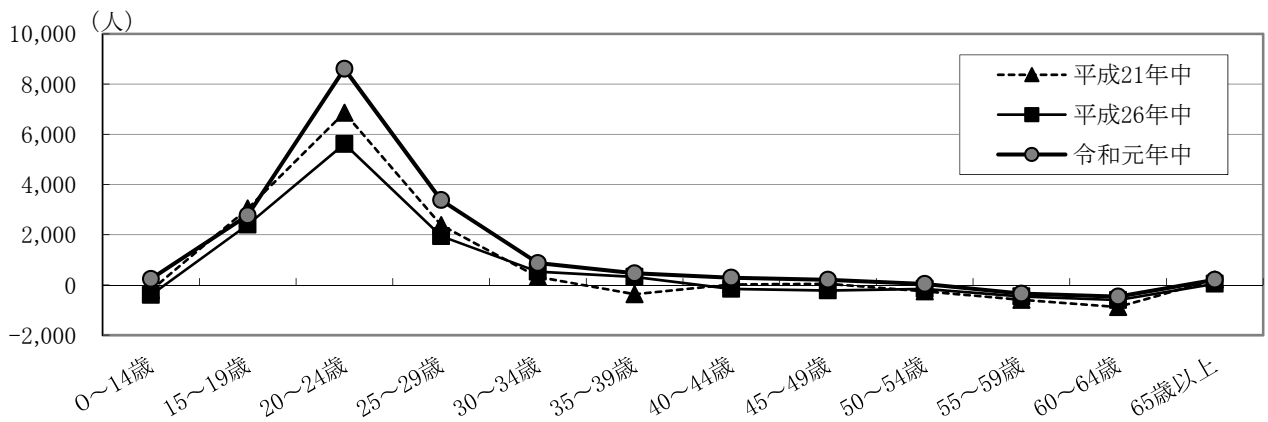
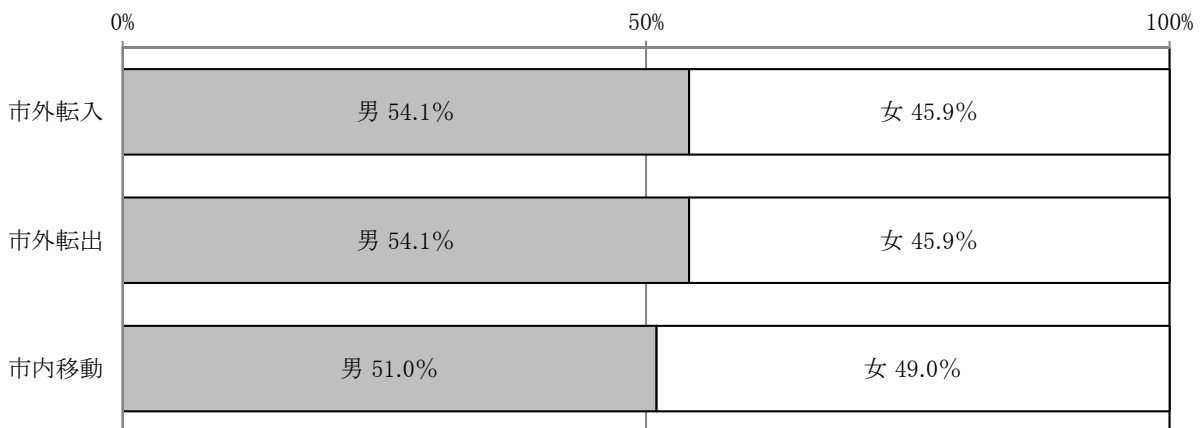


図1-15 社会移動数の男女別割合（令和元年中）



3 自然動態

・自然増加数のマイナスが拡大

自然動態をみると、出生は26,394人（前年比1,497人減）、死亡は33,594人（同107人増）で、自然増加数はマイナス7,200人（同1,604人減）となっています。自然増加数のマイナス傾向は、平成28年から4年連続となり、その幅は拡大しています。

自然動態の推移を人口1,000人当たりの比率で見ると、出生率は終戦直後の第1次ベビーブーム後の急激な低下から昭和30年代後半になると上昇に転じ、第2次ベビーブームの昭和47年には22.62まで上昇しました。その後の出生率は緩やかな低下傾向にあり、平成13年以降は1桁となり、令和元年は7.06に低下しています。

一方、死亡率は昭和50年代から緩やかな上昇傾向にあり、令和元年は前年の8.97より0.01ポイント高い8.98となっています。

平成28年から死亡率が出生率を上回り、令和元年の自然増加率はマイナス1.92で、昭和22年以降で最低となっています。

[図1-16、表1-8、統計表第3表]

図1-16 出生率、死亡率、自然増加率の推移（昭和39年中～令和元年中）

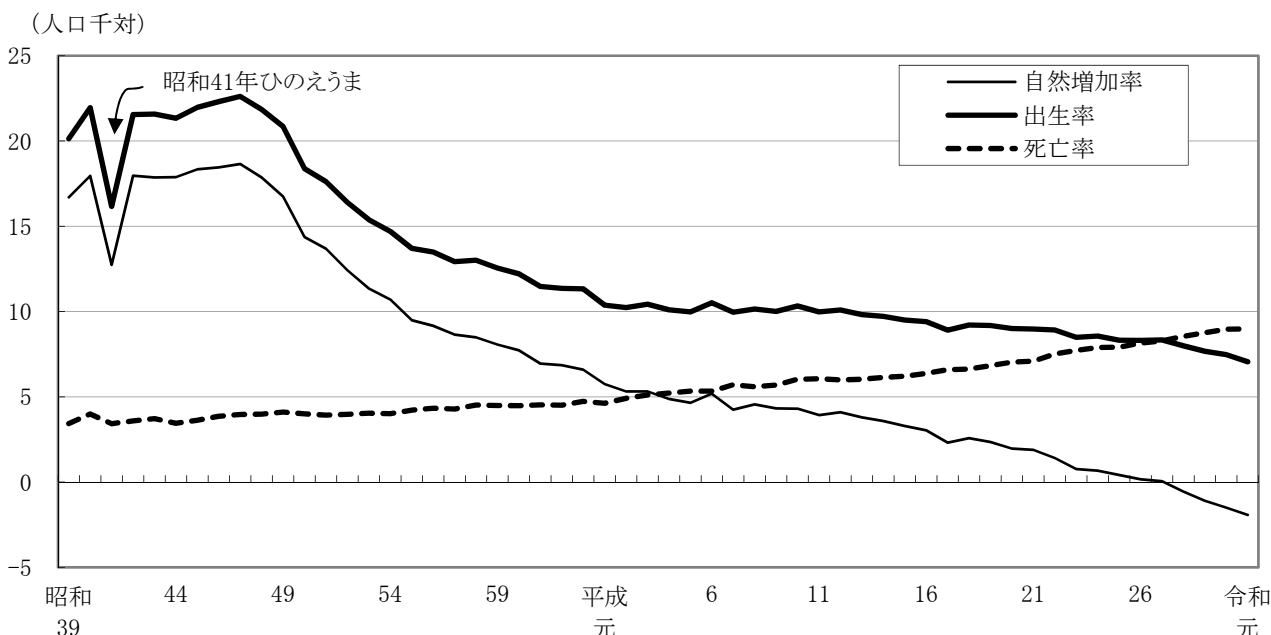


表1-8 自然動態の推移（昭和22年中～令和元年中）

年 中	自 然 動 態			比 率 (人口千対)		
	自然増加数	出 生	死 亡	自然増加率	出 生 率	死 亡 率
昭和22	17,031	27,529	10,498	22.08	35.69	13.61
23	18,136	26,058	7,922	21.91	31.49	9.57
24	19,417	27,116	7,699	22.16	30.95	8.79
25	16,980	24,063	7,083	18.41	26.09	7.68
26	15,253	22,008	6,755	15.80	22.80	7.00
27	14,414	20,400	5,986	14.23	20.14	5.91
28	13,379	19,922	6,543	12.75	18.99	6.24
29	13,119	19,537	6,418	12.04	17.93	5.89
30	12,706	19,118	6,412	11.33	17.05	5.72
31	12,641	18,717	6,076	10.98	16.26	5.28
32	13,025	19,736	6,711	11.02	16.70	5.68
33	14,936	21,303	6,367	12.22	17.43	5.21
34	16,094	22,220	6,126	12.72	17.56	4.84
35	17,272	23,272	6,000	13.16	17.73	4.57
36	19,306	24,710	5,404	13.91	17.80	3.89
37	20,973	26,647	5,674	14.42	18.32	3.90

表 1-8 自然動態の推移 (昭和22年中～令和元年中) (続)

年 中	自 然 動 態			比 率 (人口千対)		
	自然増加数	出 生	死 亡	自然増加率	出 生 率	死 亡 率
昭和38	23,080	28,617	5,537	15.06	18.68	3.61
39	26,857	32,374	5,517	16.70	20.13	3.43
40	30,444	37,213	6,769	17.96	21.95	3.99
41	23,012	29,197	6,185	12.74	16.16	3.42
42	33,704	40,433	6,729	17.96	21.55	3.59
43	35,124	42,433	7,309	17.86	21.58	3.72
44	36,980	44,114	7,134	17.88	21.33	3.45
45	39,755	47,622	7,867	18.34	21.97	3.63
46	41,749	50,490	8,741	18.45	22.31	3.86
47	44,176	53,562	9,386	18.65	22.62	3.96
48	43,745	53,504	9,759	17.87	21.85	3.99
49	42,072	52,394	10,322	16.74	20.85	4.11
50	37,045	47,353	10,308	14.38	18.38	4.00
51	36,003	46,322	10,319	13.69	17.62	3.92
52	33,151	43,758	10,607	12.42	16.40	3.97
53	30,695	41,625	10,930	11.35	15.39	4.04
54	29,323	40,306	10,983	10.70	14.71	4.01
55	26,294	37,977	11,683	9.49	13.71	4.22
56	25,470	37,493	12,023	9.16	13.49	4.33
57	24,339	36,381	12,042	8.65	12.93	4.28
58	24,264	37,179	12,915	8.49	13.01	4.52
59	23,433	36,466	13,033	8.07	12.56	4.49
60	22,838	36,063	13,225	7.73	12.21	4.48
61	20,865	34,461	13,596	6.95	11.48	4.53
62	20,971	34,773	13,802	6.85	11.36	4.51
63	20,567	35,321	14,754	6.60	11.33	4.73
平成元	18,178	32,774	14,596	5.75	10.37	4.62
2	17,018	32,746	15,728	5.32	10.24	4.92
3	17,161	33,651	16,490	5.32	10.43	5.11
4	15,883	32,896	17,013	4.88	10.10	5.23
5	15,227	32,692	17,465	4.65	9.98	5.33
6	17,060	34,617	17,557	5.18	10.52	5.33
7	14,036	32,899	18,863	4.25	9.96	5.71
8	15,080	33,567	18,487	4.56	10.14	5.59
9	14,350	33,273	18,923	4.32	10.01	5.69
10	14,392	34,547	20,155	4.30	10.33	6.03
11	13,232	33,676	20,444	3.92	9.98	6.06
12	13,932	34,295	20,363	4.10	10.09	5.99
13	13,029	33,722	20,693	3.80	9.82	6.03
14	12,406	33,699	21,293	3.58	9.71	6.14
15	11,523	33,271	21,748	3.29	9.50	6.21
16	10,727	33,238	22,511	3.04	9.41	6.37
17	8,244	31,722	23,478	2.32	8.91	6.60
18	9,246	33,023	23,777	2.58	9.21	6.63
19	8,488	33,122	24,634	2.35	9.18	6.83
20	7,142	32,694	25,552	1.97	9.00	7.04
21	6,922	32,816	25,894	1.89	8.98	7.09
22	5,174	32,747	27,573	1.41	8.92	7.51
23	2,808	31,296	28,488	0.76	8.48	7.72
24	2,460	31,623	29,163	0.67	8.57	7.90
25	1,535	30,753	29,218	0.42	8.32	7.90
26	613	30,780	30,167	0.17	8.31	8.15
27	195	30,928	30,733	0.05	8.33	8.28
28	△ 2,084	29,749	31,833	△ 0.56	7.99	8.55
29	△ 4,073	28,611	32,684	△ 1.09	7.67	8.76
30	△ 5,596	27,891	33,487	△ 1.50	7.47	8.97
令和元	△ 7,200	26,394	33,594	△ 1.92	7.06	8.98

注) 比率に用いた人口については、各年1月1日現在人口である。

4 行政区の人口動態

・社会増加率が突出した西区、自然増加率が高い港北区

令和元年中の各区の人口動態を社会動態と自然動態に区分してみると、社会増加数がプラスとなったのは神奈川区（2,011人）、鶴見区（1,856人）、戸塚区（1,753人）など16区となっています。

また、自然増加数がプラスとなったのは港北区（704人）と都筑区（292人）の2区となっています。

社会増加率及び自然増加率^(注)で見ると、社会増加率は西区が最も高く、自然増加率は港北区が最も高くなっています。

次に、市外転入・転出者数を移動前・移動後の住所地別にみると、東京圏内の地域では東京都区部が多くなっています。さらに、東京圏内の地域との移動を行政区別にみると、川崎市との移動では鶴見区、青葉区、港北区、横須賀三浦地区との移動では金沢区、県央地区との移動では瀬谷区、旭区、湘南地区との移動では戸塚区が多くなっています。

他の都道府県との移動割合は市全体で約3割、国外との移動割合は、市全体で約1割となっています。

【図1-17、表1-9、表1-10、統計表第5表、第14表、第15表】

(注) 社会増加率 = 社会増加数 ÷ 平成31年1月1日現在総人口 × 100

自然増加率 = 自然増加数 ÷ 平成31年1月1日現在総人口 × 100

表1-9 行政区別の人口動態（令和元年中）

行政区	人口増加数	社会動態						自然動態		
		社会増加数	市外移動		市内（区間）移動		その他増減	自然増加数	出生	死亡
			転入	転出	転入	転出				
横浜市	8,985	16,185	151,930	135,653	69,242	69,195	△ 139	△ 7,200	26,394	33,594
鶴見区	1,784	1,856	16,005	13,657	3,448	3,873	△ 67	△ 72	2,384	2,456
神奈川区	1,712	2,011	12,518	10,066	5,675	6,102	△ 14	△ 299	1,821	2,120
西区	1,585	1,610	6,436	4,870	3,562	3,319	△ 199	△ 25	878	903
中区	742	1,408	9,177	6,968	4,364	4,753	△ 412	△ 666	889	1,555
南区	140	1,152	8,191	6,511	5,289	5,710	△ 107	△ 1,012	1,236	2,248
港南区	△ 140	712	5,671	5,350	4,356	3,966	1	△ 852	1,288	2,140
保土ヶ谷区	362	1,147	7,584	6,243	4,686	4,784	△ 96	△ 785	1,279	2,064
旭区	△ 600	559	5,830	5,936	4,491	3,875	49	△ 1,159	1,511	2,670
磯子区	△ 260	274	6,074	5,508	3,618	3,904	△ 6	△ 534	1,105	1,639
金沢区	△ 980	△ 251	6,315	6,086	2,167	2,659	12	△ 729	1,138	1,867
港北区	2,172	1,468	18,982	16,659	5,525	6,450	70	704	3,175	2,471
緑区	913	1,076	6,565	6,312	3,783	3,055	95	△ 163	1,371	1,534
青葉区	494	632	14,521	14,283	3,006	2,871	259	△ 138	2,045	2,183
都筑区	1,092	800	8,703	7,991	3,638	3,625	75	292	1,572	1,280
戸塚区	1,514	1,753	9,044	8,293	4,939	4,034	97	△ 239	2,204	2,443
栄区	△ 436	65	3,590	3,455	1,856	1,946	20	△ 501	709	1,210
泉区	△ 466	1	3,674	4,015	2,728	2,411	25	△ 467	1,020	1,487
瀬谷区	△ 643	△ 88	3,050	3,450	2,111	1,858	59	△ 555	769	1,324

図 1-17 行政区別の社会増加率及び自然増加率の分布（令和元年中）

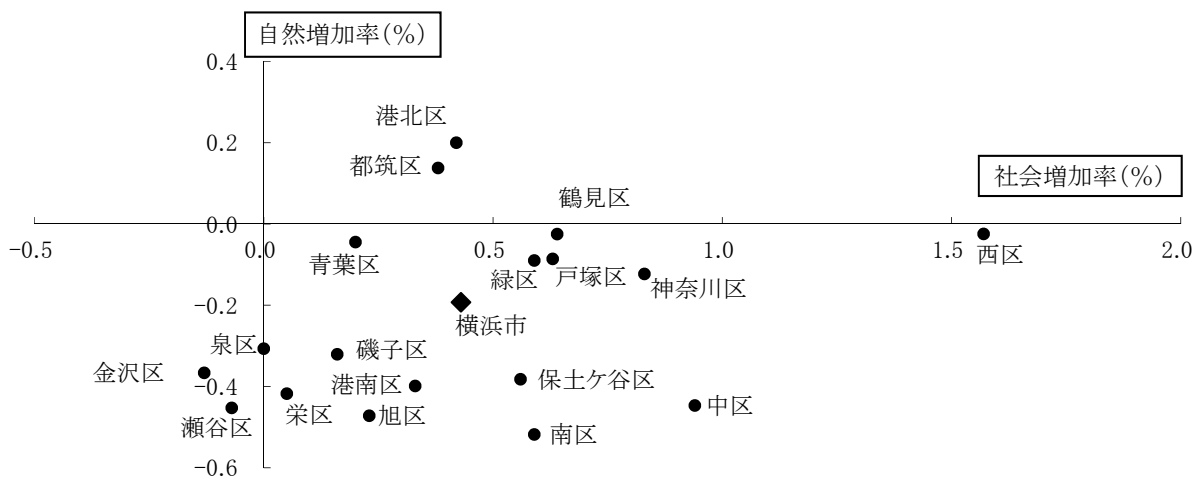


表 1-10 行政区別の市外転入・転出数（令和元年中）

行政区	総数	東京圏内の地域									東京圏外	
		川崎市	相模原市	横須賀三浦地区	県央地区	湘南地区	県内その他	東京都区部	東京都区部以外	埼玉県千葉県	他の ¹⁾ 道府県	国外
横浜市	151,930	14,084	2,762	5,963	4,485	5,888	1,067	24,533	6,998	13,985	50,284	21,881
鶴見区	16,005	2,442	172	247	255	323	73	2,913	600	1,561	4,935	2,484
神奈川区	12,518	1,094	229	342	360	420	77	2,293	578	1,283	4,576	1,266
西区	6,436	458	103	204	202	266	37	1,244	272	568	1,925	1,157
中区	9,177	534	133	269	162	293	65	1,604	339	813	2,509	2,456
南区	8,191	460	125	477	176	355	60	1,197	337	833	2,704	1,467
港南区	5,671	419	88	557	133	311	55	811	225	538	2,006	528
保土ヶ谷区	7,584	521	129	269	284	324	69	1,090	354	754	2,574	1,216
旭区	5,830	413	163	198	459	313	59	782	310	595	1,944	594
磯子区	6,074	265	75	367	113	215	59	630	209	529	1,862	1,750
金沢区	6,315	226	79	1,079	144	212	38	757	228	487	2,169	896
港北区	18,982	2,129	308	346	313	502	119	4,108	977	1,744	6,390	2,046
緑区	6,565	631	302	114	237	212	36	866	488	640	2,168	871
青葉区	14,521	2,335	285	127	333	256	56	2,723	853	979	4,422	2,152
都筑区	8,703	975	163	98	157	166	36	1,092	351	758	3,833	1,074
戸塚区	9,044	579	148	578	263	756	111	1,274	409	908	3,036	982
栄区	3,590	181	66	504	123	324	56	394	135	357	1,131	319
泉区	3,674	212	78	128	298	447	28	408	167	341	1,195	372
瀬谷区	3,050	210	116	59	473	193	33	347	166	297	905	251
横浜市	135,653	14,239	3,006	5,071	6,056	6,844	1,002	27,873	7,766	13,293	37,157	13,346
鶴見区	13,657	2,674	186	273	260	415	85	2,841	590	1,523	3,642	1,168
神奈川区	10,066	1,120	197	280	276	422	69	2,454	480	1,054	2,846	868
西区	4,870	350	62	156	158	213	39	1,295	212	429	1,338	618
中区	6,968	445	78	282	174	294	32	1,672	284	749	1,738	1,220
南区	6,511	577	120	279	234	335	58	1,303	338	709	1,823	735
港南区	5,350	371	117	369	195	399	52	1,066	225	528	1,663	365
保土ヶ谷区	6,243	499	119	216	346	268	47	1,366	304	669	1,745	664
旭区	5,936	437	233	158	712	362	66	952	327	582	1,597	510
磯子区	5,508	444	118	381	158	294	58	876	249	653	1,819	458
金沢区	6,086	399	106	800	139	250	42	1,109	277	618	1,855	491
港北区	16,659	2,099	249	299	367	543	89	4,323	920	1,605	4,573	1,592
緑区	6,312	566	381	98	435	190	34	992	770	582	1,717	547
青葉区	14,283	2,050	377	166	617	343	66	3,226	1,388	1,144	3,386	1,520
都筑区	7,991	862	177	156	221	238	46	1,418	481	709	2,741	942
戸塚区	8,293	607	140	449	306	932	85	1,504	370	788	2,248	864
栄区	3,455	252	76	477	142	494	54	481	158	284	791	246
泉区	4,015	296	116	130	468	588	53	596	161	373	890	344
瀬谷区	3,450	191	154	102	848	264	27	399	232	294	745	194

注 1) 「他の道府県」には地域不詳を含む。

5 外国人人口の動き

・外国人人口は10万4,047人で総人口の2.8%

令和元年12月末日現在、住民基本台帳に記載のある外国人の数は104,047人で総人口の2.8%を占め、前年に比べて6,507人(6.7%)増加し、過去最高となりました。

[図1-18、表1-11]

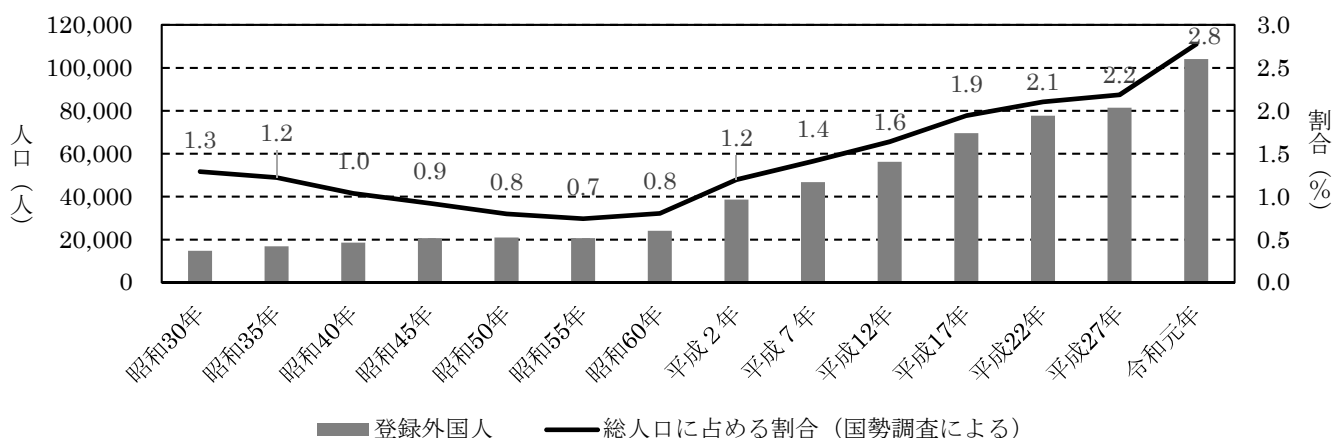
(1) 推移

・昭和60年代以降、人口増加が加速

昭和30年以降の外国人人口の推移をみると、昭和60年代までは微増傾向は見られるものの、ほぼ1~2万人台で安定的に推移していました。しかし、平成に入る頃から外国人人口は急増し、平成12年には5万人を超える水準に達し、令和元年では10万人を超える規模にまで増加しています。近年、増加幅は大きくなっており、平成27年以降は年間5千人規模で増加しています。総人口に占める割合は、昭和55年に0.7%であったのが令和元年は2.8%と、約4倍になっています。

[図1-18]

図1-18 外国人人口の推移（昭和30年～令和元年）



(2) 国籍・地域別

・中国国籍が全体の4割を占める

国籍・地域別にみると、中国が41,707人(外国人人口の40.1%)と最も多く、韓国・朝鮮が13,519人(同13.0%)、ベトナムが8,595人(同8.3%)と続き、これら3か国で全体の6割以上を占めています。

また、対前年の増加数は中国が2,308人と最大で、増加率はベトナムが22.9%、インドが21.7%で20%を超える高い率となっています。

[表1-11]

表1-11 国籍・地域別外国人人口の推移（昭和30年～令和元年）

(単位：人)

国籍・地域	総数	中国	韓国・朝鮮	ベトナム	フィリピン	ネパール	インド	台湾	ブラジル	米国	タイ
昭和30年	14,777	4,489	8,382	1	73	...	49	...	1	704	2
昭和40年	18,581	5,245	10,309	...	72	...	55	1,637	...
昭和50年	20,979	4,920	12,222	...	134	...	64	...	74	1,517	36
昭和60年	24,079	5,371	13,456	112	482	...	142	...	89	1,534	91
平成2年	38,603	9,649	15,704	366	2,067	...	162	...	2,671	2,177	291
平成7年	46,723	12,700	15,289	627	3,365	...	292	...	3,849	2,344	595
平成12年	56,167	17,219	15,558	1,026	4,955	...	443	...	3,758	2,489	992
平成17年	69,563	24,101	15,851	1,350	6,882	164	973	...	3,942	2,776	1,357
平成22年	77,643	33,537	15,394	1,873	6,560	490	1,399	...	3,156	2,440	1,466
平成27年	81,424	33,621	13,671	3,714	6,884	2,082	1,960	2,404	2,291	2,236	1,504
平成30年	97,540	39,399	13,549	6,996	8,118	3,626	2,624	2,861	2,579	2,604	1,661
令和元年	104,047	41,707	13,519	8,595	8,410	4,151	3,193	2,872	2,715	2,697	1,719
構成比(%)	100.0	40.1	13.0	8.3	8.1	4.0	3.1	2.8	2.6	2.6	1.7
対前年増加数	6,507	2,308	△30	1,599	292	525	569	11	136	93	58
対前年増加率(%)	6.7	5.9	△0.2	22.9	3.6	14.5	21.7	0.4	5.3	3.6	3.5

注) 昭和30年～50年、平成17年～令和元年は年末、昭和60年～平成12年は年度末現在

(3) 行政区別

・外国人人口が多い中区

行政区別にみると、中区が17,310人で最も多く、区の総人口の1割ほどを外国人が占めています。2番目は鶴見区の13,822人で、前年中の増加数では920人と市内最多となっています。

国籍・地域別に行政区の分布状況をみると、中国、韓国・朝鮮、台湾、米国は中区で多くなっており、他の国籍では、ベトナムは鶴見区と泉区、フィリピンは鶴見区と南区、ネパールは鶴見区、神奈川区、西区、インドは緑区、ブラジルは鶴見区でそれぞれ多い状況となっています。

[表1-12、表1-13]

表1-12 行政区別外国人人口（平成29年～令和元年）

行政区	外国人人口			増加数		増加率(%)		各年12月31日現在	
	平成29年	平成30年	令和元年	平成30年中	令和元年中	平成30年中	令和元年中	令和元年	
								市の外国人人口に占める割合(%)	区の総人口に占める割合(%) ¹⁾
横浜市	91,452	97,540	104,047	6,088	6,507	6.7	6.7	100.0	2.8
鶴見区	12,180	12,902	13,822	722	920	5.9	7.1	13.3	4.7
神奈川区	6,586	6,993	7,473	407	480	6.2	6.9	7.2	3.0
西区	4,207	4,896	5,255	689	359	16.4	7.3	5.1	5.1
中区	16,440	16,812	17,310	372	498	2.3	3.0	16.6	11.5
南区	9,680	10,352	10,860	672	508	6.9	4.9	10.4	5.6
港南区	2,340	2,576	2,760	236	184	10.1	7.1	2.7	1.3
保土ヶ谷区	5,081	5,346	5,825	265	479	5.2	9.0	5.6	2.8
旭区	2,671	2,923	3,164	252	241	9.4	8.2	3.0	1.3
磯子区	4,289	4,740	5,059	451	319	10.5	6.7	4.9	3.0
金沢区	2,629	2,815	3,054	186	239	7.1	8.5	2.9	1.5
港北区	6,008	6,527	7,075	519	548	8.6	8.4	6.8	2.0
緑区	3,364	3,822	4,256	458	434	13.6	11.4	4.1	2.3
青葉区	3,921	4,225	4,523	304	298	7.8	7.1	4.3	1.5
都筑区	3,157	3,327	3,643	170	316	5.4	9.5	3.5	1.7
戸塚区	3,752	4,026	4,351	274	325	7.3	8.1	4.2	1.5
栄区	961	1,002	1,158	41	156	4.3	15.6	1.1	1.0
泉区	2,518	2,488	2,529	△ 30	41	△ 1.2	1.6	2.4	1.7
瀬谷区	1,668	1,768	1,930	100	162	6.0	9.2	1.9	1.6

注1) 令和2年1月1日現在の推計人口に占める割合

表1-13 行政区、国籍・地域別外国人人口（令和元年）

行政区	総数	(単位：人)									
		中国	韓国・朝鮮	ベトナム	フィリピン	ネパール	インド	台湾	ブラジル	米国	タイ
横浜市	104,047	41,707	13,519	8,595	8,410	4,151	3,193	2,872	2,715	2,697	1,719
鶴見区	13,822	5,154	1,569	1,260	1,338	796	311	244	1,254	120	124
神奈川区	7,473	3,014	1,068	528	515	744	110	209	82	187	92
西区	5,255	1,970	711	415	246	639	86	144	28	199	70
中区	17,310	9,669	2,139	497	765	320	326	758	106	687	335
南区	10,860	5,651	1,489	700	1,115	253	119	325	36	141	215
港南区	2,760	1,040	520	276	315	53	33	67	39	68	64
保土ヶ谷区	5,825	2,317	709	449	457	398	296	147	52	98	94
旭区	3,164	973	440	353	342	156	28	64	35	66	91
磯子区	5,059	2,565	545	342	427	126	146	116	210	99	67
金沢区	3,054	729	395	393	265	82	55	59	165	106	78
港北区	7,075	2,008	1,260	495	668	295	135	240	118	293	106
緑区	4,256	1,088	340	314	429	39	1,048	63	149	56	80
青葉区	4,523	1,270	687	356	251	51	232	109	75	243	75
都筑区	3,643	659	547	423	399	26	170	140	128	113	53
戸塚区	4,351	1,874	561	462	324	78	83	76	129	107	61
栄区	1,158	359	199	150	121	23	10	44	17	48	34
泉区	2,529	849	160	767	181	16	4	31	52	38	48
瀬谷区	1,930	518	180	415	252	56	1	36	40	28	32

(4) 在留資格別

・「永住者」が3割以上を占め、「技能実習」と「高度専門職」で高い増加率

令和元年の外国人人口を在留資格別にみると、永住者が 35,662 人で、外国人人口の 34.3%を占めており、技術・人文・知識・国際業務が 12,332 人(外国人人口の 11.9%)、家族滞在が 12,122 人(同 11.7%)と続いています。前年からの増加率をみると、技能実習と高度専門職でそれぞれ 43.3%、30.3%と高い増加率となっています。

なお、横浜市の場合、全国と比べ、永住者の割合(横浜市 34.3%、全国 27.7%)が高く、技能実習(同 4.9%、同 13.0%)及び留学(同 8.9%、同 11.9%)の割合が低くなっています。

[表 1-14]

表 1-14 在留資格別の外国人人口(令和元年)

在留資格	外国人人口(人)		構成比(%)	(参考) 全国構成比(%)	各年12月末日現在 対前年増加	
	平成30年	令和元年			増加数	増加率(%)
総数	97,540	104,047	100.0	100.0	6,507	6.7
教授、芸術、宗教、報道	225	204	0.2	0.4	△ 21	△ 9.3
高度専門職	706	920	0.9	0.5	214	30.3
技術・人文知識・国際業務	10,698	12,332	11.9	9.1	1,634	15.3
経営・管理	1,003	1,017	1.0	0.9	14	1.4
企業内転勤	1,409	1,337	1.3	0.6	△ 72	△ 5.1
教育	441	489	0.5	0.5	48	10.9
法律・会計業務、医療、研究、介護、興行	286	291	0.3	0.2	5	1.7
技能	2,471	2,595	2.5	1.4	124	5.0
特定技能	—	7	0.0	0.0	7	—
技能実習	3,573	5,119	4.9	13.0	1,546	43.3
留学	8,768	9,265	8.9	11.9	497	5.7
文化活動、研修	148	159	0.2	0.1	11	7.4
家族滞在	11,218	12,122	11.7	6.8	904	8.1
特定活動	1,937	1,880	1.8	2.2	△ 57	△ 2.9
永住者	33,906	35,662	34.3	27.7	1,756	5.2
日本人の配偶者等	5,600	5,464	5.3	5.1	△ 136	△ 2.4
永住者の配偶者等	1,913	1,990	1.9	1.4	77	4.0
定住者	5,351	5,500	5.3	7.0	149	2.8
特別永住者	7,820	7,634	7.3	11.2	△ 186	△ 2.4
その他	67	60	0.1	0.0	△ 7	△ 10.4

* 国の構成比は、令和元年6月末速報値をもとに計算しています。

(5) 前年中の人口動態

・総人口の増加数の8割弱を占める外国人

令和元年中の外国人人口の動態をみると、市外からの転入が24,638人、転出が15,696人、その他異動（帰化、職権消除など）はマイナス2,604人で、社会増加数は6,338人の増加となっています。また、出生が770人、死亡が244人で、自然増加数は526人の増加となっています。その結果、社会増加数と自然増加数を合わせた外国人の人口増加数は6,864人で、総人口の増加数の8割弱を占めています。

行政区別にみると、外国人人口は全区で増加しており、増加数が最も多いのは鶴見区の965人で、港北区が569人、中区が530人と続きます。また、人口増加率が10%を超えるのは栄区(16.17%)と緑区(11.90%)の2区となっています。

[表1-15、表1-16、統計表第5表]

表1-15 令和元年中の人口動態（日本人・外国人）

(単位：人)

	人口 増加数	人口 増加率(%)	社会動態				自然動態		
			社会増減	転入	転出	その他	自然増減	出生	死亡
総数	8,985	0.24	16,185	151,930	135,653	△ 92	△ 7,200	26,394	33,594
日本人	2,121	0.06	9,847	127,292	119,957	2,512	△ 7,726	25,624	33,350
外国人	6,864	7.04	6,338	24,638	15,696	△ 2,604	526	770	244
(参考)平成30年中 外国人	6,376	6.97	5,850	22,146	13,938	△ 2,358	526	721	195

*本表の外国人の人口増加数は、12月31日現在の外国人人口(住民基本台帳人口)と比較した増加数(6,507人)とは一致しません。
*日本人及び外国人の人口増加率は、12月31日現在の住民基本台帳人口をもとに計算しています。

表1-16 令和元年中の行政区別の人口動態(外国人)

(単位：人)

	人口 増加数	人口 増加率 (%)	社会動態				自然動態		
			社会増減	転入	転出	その他	自然増減	出生	死亡
横浜市	6,864	7.04	6,338	24,638	15,696	△ 2,604	526	770	244
鶴見区	965	7.48	870	3,667	2,475	△ 322	95	129	34
神奈川区	511	7.31	484	1,879	1,140	△ 255	27	41	14
西区	363	7.41	332	1,452	893	△ 227	31	37	6
中区	530	3.15	486	3,057	1,777	△ 794	44	97	53
南区	520	5.02	441	1,953	1,154	△ 358	79	108	29
港南区	199	7.73	199	458	223	△ 36	0	10	10
保土ヶ谷区	493	9.22	456	1,417	883	△ 78	37	50	13
旭区	255	8.72	247	650	373	△ 30	8	20	12
磯子区	366	7.72	341	1,838	1,367	△ 130	25	37	12
金沢区	255	9.06	238	902	548	△ 116	17	28	11
港北区	569	8.72	533	2,241	1,564	△ 144	36	44	8
緑区	455	11.90	426	952	566	40	29	34	5
青葉区	320	7.57	301	1,513	1,088	△ 124	19	26	7
都筑区	328	9.86	300	901	576	△ 25	28	33	5
戸塚区	360	8.94	333	925	564	△ 28	27	37	10
栄区	162	16.17	162	220	67	9	0	4	4
泉区	46	1.85	29	280	250	△ 1	17	24	7
瀬谷区	167	9.45	160	333	188	15	7	11	4

*外国人の人口増加率は、12月31日現在の住民基本台帳人口をもとに計算しています。

・外国人の転入超過は 8,942 人

外国人の令和元年中の市外移動の状況をみると、転入 24,638 人のうち国内が 10,818 人、国外が 13,820 人となっています。また、転出 15,696 人のうち国内が 10,096 人、国外が 5,600 人となっています。転入から転出を引いた転入超過数は、国内が 722 人、国外が 8,220 人で、国内と国外を合わせた全体（地域不詳を含む）では 8,942 人の転入超過となっています。

国内移動について地域別に移動率をみると、外国人は東京都区部が転入、転出とも最も高く、日本人よりも移動率が高くなっています。そのほか、埼玉県・千葉県、北関東で日本人より移動率が高くなっています。

[表 1-17、統計表第 14 表、第 15 表]

表 1-17 令和元年中の地域別市外移動（日本人・外国人）

(単位：人)

	転 入				転 出				転入超過	
	移動者数		移動率 (%)		移動者数		移動率 (%)		日本人	外国人
	日本人	外国人	日本人	外国人	日本人	外国人	日本人	外国人		
市外移動総数	127,292	24,638			119,957	15,696			7,335	8,942
国内移動	119,231	10,818	100.0	100.0	112,211	10,096	100.0	100.0	7,020	722
北海道・東北	8,816	223	7.4	2.1	6,045	268	5.4	2.7	2,771	△ 45
北関東	4,304	790	3.6	7.3	3,503	476	3.1	4.7	801	314
埼玉・千葉県	12,079	1,906	10.1	17.6	11,833	1,460	10.5	14.5	246	446
東京都区部	21,293	3,240	17.9	30.0	25,077	2,796	22.3	27.7	△ 3,784	444
東京都区部以外	6,492	506	5.4	4.7	7,176	590	6.4	5.8	△ 684	△ 84
川崎市	13,044	1,040	10.9	9.6	12,774	1,465	11.4	14.5	270	△ 425
神奈川県下	19,252	913	16.1	8.4	20,635	1,344	18.4	13.3	△ 1,383	△ 431
甲信越・北陸・東海	13,793	1,062	11.6	9.8	9,867	865	8.8	8.6	3,926	197
近畿	8,932	633	7.5	5.9	7,163	466	6.4	4.6	1,769	167
中国・四国	4,012	209	3.4	1.9	2,767	158	2.5	1.6	1,245	51
九州・沖縄	6,751	284	5.7	2.6	5,371	208	4.8	2.1	1,380	76
国外移動	8,061	13,820			7,746	5,600			315	8,220
(参考) 市内移動	63,752	5,490								

* 「神奈川県下」は横浜市及び川崎市を除く

* 「国内移動」には地域不詳を含む

6 大都市の人口動態

・横浜市の人口増加率は第8位

21大都市（政令指定都市及び東京都区部）の令和元年中の人口動態をみると、人口1万人当たりの人口増加数はさいたま市が91.9人と最も高く、次いで川崎市（91.5人）、東京都区部（87.8人）となっており、横浜市（24.0人）は第8位となっています。また、人口が減少しているのは11市です。

横浜市について、社会増加数と自然増加数をみると、社会増加数が43.3人、自然増加数がマイナス19.2人で、それぞれ第9位となっています。

大都市について、人口1万人当たりの社会増加数と自然増加数をみると、ともにプラスとなったのが、川崎市、福岡市の2市で、ともにマイナスとなったのは新潟市、静岡市、堺市及び北九州市の4市です。他の15市は社会増加数がプラス、自然増加数がマイナスとなっています。

[表1-18、表1-19]

表1-18 大都市の人口動態（令和元年中）

都 市 名	平成31年 1月1日現在 人口	人口 増加数	令 和 元 年 中 の 人 口 動 態							令和2年 1月1日現在 人口
			社 会 動 態			自 然 動 態				
			社会 増加数	市 外 移 動		その他 の増減	自然 増加数	出 生	死 亡	
	転 入	転 出								
札幌市	1,966,735	3,856	10,757	69,235	58,119	△ 359	△ 6,901	12,810	19,711	1,970,591
仙台市	1,089,131	1,475	2,745	67,762	64,812	△ 205	△ 1,270	7,861	9,131	1,090,606
さいたま市	1,297,835	11,933	12,809	67,133	54,324	-	△ 876	10,317	11,193	1,309,768
千葉市	9,977,752	2,467	5,399	45,068	38,945	△ 724	△ 2,932	6,419	9,351	980,219
東京都区部	9,569,121	83,991	89,185	358,188	294,456	25,453	△ 5,194	76,725	81,919	9,653,112
川崎市	1,517,756	13,890	12,146	92,775	79,157	△ 1,472	1,744	13,421	11,677	1,531,646
横浜市	3,740,944	8,985	16,185	151,930	135,653	△ 92	△ 7,200	26,394	33,594	3,749,929
相模原市	722,863	△ 67	1,751	29,953	28,202	-	△ 1,818	4,715	6,533	722,796
新潟市	800,000	△ 4,403	△ 492	29,879	30,348	△ 23	△ 3,911	5,335	9,246	795,597
静岡市	694,643	△ 4,120	△ 304	19,506	19,605	△ 205	△ 3,816	4,435	8,251	690,523
浜松市	793,695	△ 2,253	403	23,640	23,237	-	△ 2,656	5,791	8,447	791,442
名古屋市	2,321,727	6,926	11,649	112,090	97,568	△ 2,873	△ 4,723	18,371	23,094	2,328,653
京都市	1,468,525	△ 2,824	2,532	55,976	52,319	△ 1,125	△ 5,356	9,700	15,056	1,465,701
大阪市	2,727,255	16,480	25,646	212,666	184,191	△ 2,829	△ 9,166	21,124	30,290	2,743,735
堺市	830,695	△ 2,986	△ 208	26,052	25,894	△ 366	△ 2,778	6,038	8,816	827,709
神戸市	1,526,639	△ 4,366	1,279	52,512	49,606	△ 1,627	△ 5,645	10,468	16,113	1,522,273
岡山市	721,645	△ 297	971	28,148	26,410	△ 767	△ 1,268	5,663	6,931	721,348
広島市	1,199,543	△ 363	969	42,864	41,633	△ 262	△ 1,332	9,411	10,743	1,199,180
北九州市	944,772	△ 5,322	△ 700	45,315	45,680	△ 335	△ 4,622	6,687	11,309	939,450
福岡市	1,582,368	13,306	12,462	86,782	72,385	△ 1,935	844	13,616	12,772	1,595,674
熊本市	740,068	△ 405	536	40,898	40,926	564	△ 941	6,343	7,284	739,663

注1) 横浜市以外の都市の数値については、原則、各市の公表数値による。

注2) 社会動態については、各市で取扱いが異なる場合がある。

表1-19 大都市の人口1万人当たりの人口増加数（令和元年中）

人口増加数		社会増加		自然増加	
1 さいたま市	91.9	1 さいたま市	98.7	1 川崎市	11.5
2 川崎市	91.5	2 大阪市	94.0	2 福岡市	5.3
3 東京都区部	87.8	3 東京都区部	93.2	3 東京都区部	△ 5.4
4 福岡市	84.1	4 川崎市	80.0	4 さいたま市	△ 6.7
5 大阪市	60.4	5 福岡市	78.8	5 広島市	△ 11.1
6 名古屋市	29.8	6 千葉市	55.2	6 仙台市	△ 11.7
7 千葉市	25.2	7 札幌市	54.7	7 熊本市	△ 12.7
8 横浜市	24.0	8 名古屋市	50.2	8 岡山市	△ 17.6
9 札幌市	19.6	9 横浜市	43.3	9 横浜市	△ 19.2
10 仙台市	13.5	10 仙台市	25.2	10 名古屋市	△ 20.3
11 相模原市	△ 0.9	11 相模原市	24.2	11 相模原市	△ 25.1
12 広島市	△ 3.0	12 京都市	17.2	12 千葉市	△ 30.0
13 岡山市	△ 4.1	13 岡山市	13.5	13 堺市	△ 33.4
14 熊本市	△ 5.5	14 神戸市	8.4	14 浜松市	△ 33.5
15 京都市	△ 19.2	15 広島市	8.1	15 大阪市	△ 33.6
16 浜松市	△ 28.4	16 熊本市	7.2	16 札幌市	△ 35.1
17 神戸市	△ 28.6	17 浜松市	5.1	17 京都市	△ 36.5
18 堺市	△ 35.9	18 堺市	△ 2.5	18 神戸市	△ 37.0
19 新潟市	△ 55.0	19 静岡市	△ 4.4	19 新潟市	△ 48.9
20 北九州市	△ 56.3	20 新潟市	△ 6.2	20 北九州市	△ 48.9
21 静岡市	△ 59.3	21 北九州市	△ 7.4	21 静岡市	△ 54.9

(単位：人口1万人当たり人)